

電管協会報

一般
社団法人

沖縄県電気管工事業協会

<http://www.denkankyo.or.jp/>

E-mail: info@denkankyo.or.jp

■会長対談シリーズ

沖縄県土木建築部 前川智宏部長
「働き方改革で担い手確保が急務」

■企画特集

令和7年新年賀詞交歓会
第6回おきなわ建設フェスタ



宜野湾警察署庁舎



目次 CONTENTS

新春を迎えて

一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会会長 仲田 一郎	2
沖縄県知事 玉城 デニー	3
内閣府 沖縄総合事務局次長 山田 哲也	4
那覇市長 知念 覚	5
一般社団法人 日本電設工業協会会長 文挾 誠一	6
一般社団法人 日本空調衛生工事業協会会長 藤澤 一郎	7

視 点

(一社)沖縄県設備設計事務所協会会長 天願 清政	8
「改正建築物省エネ法と建築設備設計について」	

会長対談シリーズ(50)

沖縄県土木建築部長 前川 智宏	10
「設備工事業に負担増の懸念 担い手確保急務」	

企画特集

令和7年新年賀詞交歓会	16
第6回おきなわ建設フェスタ	19

話 題

会員企業が各種表彰に輝く	20
電管協が献血運動推進功労者として感謝状を受ける	21
(株)沖縄特電大城英雄会長が旭日双光章を受章	22
平和祈念公園でボランティア活動	22
県内各地で清掃ボランティアを実施	23

中央省庁の動き

2025年度沖縄振興予算案	24
---------------	----

協会の動き

沖総局と働き方改革などテーマに意見交換会	25
県土建部と意見交換会を開催	26
入職促進で工業高校教諭と意見交換	27
美里工業高校生対象に現場見学会を開催	28
八重山商工高校で職業講話	29
県空港課が入札参加求め説明会開催	30
開邦高校・中学校の現場で安全パトロール	31
第42回安全衛生大会を開催	32
青年部会が県社協にチャリティゴルフ収益金を寄付	33
3D-CAD講習会開催	33
青年部会が県外視察研修	34
ゆいま〜る献血を実施	34
賛助会員を活用しよう	35
理事会次第	36
各委員会の活動状況	38
新入会員紹介	39
電管グリーン入会のお知らせ	40
電管グリーン結果報告(令和6年7月～12月)	41
運営機構図	42
役員名簿	43

正会員・賛助会員名簿

正会員・賛助会員名簿	44
事務局日誌	52



宜野湾警察署庁舎

令和6年12月13日に落成した宜野湾警察署庁舎。旧庁舎の老朽化などに対応するため、令和4年10月に工事着手し、2年近い歳月をかけて完成。12月23日には新しい庁舎での業務がスタートした。

新庁舎はRC造地下1階地上4階建てで、延床面積5,688㎡と旧庁舎に比べ約2.3倍の規模。浸水対策として庁舎の1階床が隣接する国道58号より2.4m高く設計されている。1～4階には執務室を配置し、4階に武道場を設けた。さらに地下1階には県内初の「証拠品保管センター」を設置し、本島内の証拠品を一括で管理する体制を整えた。このほか、拾得動物を管理するための換気設備を完備した動物小屋や車庫などの付帯施設も整備された。

宜野湾警察署新庁舎改築工事

【主な施工業者】

[建築1工区]

(株)仲本工業・(株)富士建設JV

[建築2工区]

(株)野原建設・(株)丸元建設JV

[電気]

(株)おきさん・(株)サン電設・
(株)比謝川電気JV

[機械]

ヤシマ工業(株)・(有)三崎工業・
(有)サン冷熱JV

[昇降機]

沖縄菱電ビルシステム(株)

協会章



DENKAN

電気と水・空気の流れをイメージの中に採り入れ、自然との調和が図形の基本をなしている。電気・管工事の相互関係の緊密性を流線的に表現することにより、相互の独自性と発展性につなげるモチーフが協会章の意図になっている。

令和6年度実践スローガン

1. 県内業者への優先発注拡大強化と設備工事の重要性をアピールし、分離発注の維持・拡大を促進しよう
2. DXの推進による生産性の向上を図り、品質確保と安全施工に努めよう
3. 適正工期の確保と施工現場の4週8閉所の実現を目指し、働き方改革の推進及び将来を担う人材確保と育成に努めよう
4. 脱炭素社会の実現とSDGsの達成に貢献しよう

電管協の案内

一般社団法人
沖縄県電気管工事業協会
(略称) 電管協

公共工事に入札参加資格を有する
電気及び管工事業の団体

- 創 立：1955年(昭和30年)4月
- 会 員 数：141社(R7年1月末現在)
 - (電気)43社
 - (管)35社
 - (電気・管)43社
 - (賛助会員)20社
- 従 業 員 数：4,178名(R7年1月現在)
- 正会員年商：約850億円(R7年1月現在)

《主な加入団体》(R7年1月現在)

- (一社) 日本空調衛生工事業協会(正会員)
- (一社) 日本電設工業協会(正会員)
- (一社) 日本空調衛生工事業協会九州沖縄支部(正会員)
- (一社) 沖縄県建設産業団体連合会(正会員)
- (一社) 沖縄県建設業協会(賛助会員)
- (一社) 建築設備技術者協会(賛助会員)
- (一社) 公共建築協会(賛助法人会員)
- 沖縄県職業能力開発協会(正会員)
- 沖縄受信環境クリーン協議会(準会員)
- (一社) 沖縄県労働基準協会(正会員)
- (社福) 沖縄県社会福祉協議会(第2種会員)
- (一財) 沖縄県社会保険協会(正会員)
- (一財) 労災サポートセンター(賛助会員)
- 沖縄県警察官友の会(維持会員)
- (公社) 那覇法人会(正会員)
- (一社) 日本電気協会沖縄支部(正会員)
- (公財) 暴力団追放沖縄県民会議(賛助会員)

※ (一社)：一般社団法人、(社福)：社会福祉法人、(一財)：一般財団法人、
(公社)：公益社団法人、(公財)：公益財団法人

新春を迎えて



第三次・担い手3法施行への 取り組み推進

一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会
会長 仲田 一郎

令和7年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、大型商業施設や官公庁関係施設など旺盛な需要がある中、エネルギー価格高騰や円安の影響による資機材の高騰に加え、人手不足による労務単価の上昇等厳しい環境ではありましたが、本協会の事業運営は、行政機関、関係団体、会員各位のご支援、ご協力により所期の目的を達成することができました。改めまして厚く御礼申し上げます。

本協会は、本年4月に創立70周年を迎えます。これもひとえに関係各位のご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。創立当初より、会員企業の技術力の向上、経営体質の改善を図り、もって、県民生活の保安と公共の福祉増進ならびに産業の振興に資することを目的として活動してまいりました。今後とも地域社会に貢献できるよう活動を推進してまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、令和6年4月からの「時間外労働の上

限規制」につきましては、業界全体の課題ではありますが、特に工事の「後工程」を担う我々電気・機械設備業界は、「しわ寄せ」が発生している現状から、規制適用前の令和5年4月から上部団体である（一社）日本電設工業協会と（一社）日本空調衛生工事業協会が協働で、工事発注機関及び元請となる建設業関連団体へ働き方改革の推進への協力依頼の活動を行っております。建設業全体の目標でもあります担い手確保、持続可能な建設業の実現に向けて、ご理解とご支援をお願い申し上げます。

また、令和6年6月には、第三次・担い手3法（改正）が公布され、1年6カ月以内に改正法の実効性を確保するための施策が施行されることから、官民を挙げてこれまでにない強力な取り組みが求められております。本協会も関係各位とともに取り組みを推進してまいります。

結びに本年の県経済、県民生活が更なる飛躍の年となりますよう祈念するとともに、関係各位のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。

電設資材卸売業



株式会社 共和電気

代表取締役 平 敷 信 行

本 社 〒900-0012 沖縄県那覇市泊1丁目12番地12
TEL(098)867-0294 FAX(098)863-3370

新春を迎えて



持続可能な建設産業を目指して 経済基盤を支える社会資本整備

沖縄県知事 玉城 デニー

はいさい ぐすーよー いいそーぐわちでーびる。
明けましておめでとうございます。
令和7年の新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人沖縄県電気管工事業協会の会員の皆様におかれましては、沖縄県の土木建築行政の推進に御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は建設業界の協力のもと、国や市町村など関係機関と連携し、各種施策の推進のほか、昨年11月の本島北部地域における大雨被害などの風水害への応急対策や災害復旧に取り組むことができました。ご協力・ご尽力いただいた方々に心から感謝申し上げます。改めて、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、北部地域の一日も早い復旧に向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。

さて、県内では昨年、泡盛を含む日本の「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産へ登録されるなど沖縄県の魅力を発信する喜ばしいニュースがございました。土木建築部関連では、4月に下地島空港におけるビジネスジェットターミナル開業、韓国との定期便の就航、また8月には沖縄美ら海水族館は「入館者6千万人」を達成することができました。県有施設整備においては、地域産業の拠点となる「県立農業大学校新築工事」や県民の安全・安心、治安維持の拠点となる「宜野湾警察署新庁舎改築工事」が竣工しました。これらは景気回復、観光需要の更なる増加や地域振興に繋がるものであります。

令和7年度は「新・沖縄21世紀ビジョン実施計画（中期）」がスタートします。「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を踏まえ、空港・港湾の整備、はしご道路ネットワークの構築に

向けた道路整備等を推進するとともに、浸水・高潮対策や既存インフラの耐震化・長寿命化など関係機関等と連携し取り組むこととしています。今後も社会情勢の変化などにも対応しながら「安全・安心で幸福が実感できる島」の形成に向けて沖縄県の振興・発展へ事業を力強く推進してまいります。

建設産業においては、地域のインフラ施設等の整備や防災・減災、老朽化対策、メンテナンス等の担い手であると同時に、地域経済・雇用を支え、災害時には最前線で県民の安全・安心の確保を担う「地域の守り手」として「新時代沖縄」においても大きな役割を担っており経済基盤を支える重要な産業となっています。沖縄県としましては、「地域の守り手」である建設産業がその役割を果たし続けられるよう第三次・担い手3法等を踏まえ、引き続き建設産業における働き方改革、処遇改善及び生産性向上を進めながら、将来の担い手の確保を図るという課題に対応するため、適正な工期設定に努めるとともに、建設キャリアアップシステムの普及、週休2日工事や、ゼロ県債等を活用した施工時期の平準化やICT活用工事の推進、建設現場の遠隔臨場など、建設業における労働者の健康確保やワークライフバランスの改善等、安全・安心して働くことができる環境づくりに取り組んでまいります。建設産業を担う人材の確保については、建設産業の魅力発信に積極的に取り組んでまいりますので、引き続き皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、貴協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝・御活躍を心から祈念申し上げ、御挨拶といたします。

沖縄のサビと闘い43年、環境を守る企業



代表取締役 石原 貴史

おかげ様で
43周年

本社防錆センター 〒903-0116 沖縄県西原町字幸地1081番地 TEL:098-944-6608
車両防錆センター 〒901-0225 沖縄県豊見城市豊崎3-36 携帯:080-2721-0201
ホームページ <https://www.unitex.okinawa/>



新春を迎えて



沖縄の振興・発展に向けた インフラ整備推進

沖縄総合事務局 次長 山田 哲也

新たな年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人沖縄県電気管工事業協会の会員の皆様におかれましては、旧年中、沖縄総合事務局の官庁営繕事業等に対し、多大なるご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年11月の沖縄本島北部で降り続いた豪雨では、河川氾濫や浄水場の被災、また道路のり面崩壊など各地で甚大に被害が発生しましたが、迅速な復旧活動に対応して頂いた建設業の皆様にはご尽力いただき心より感謝申し上げます。

沖縄を訪れる旅客数は順調に回復しており、社会経済活動も正常化が進み、県内経済も好調に推移しております。沖縄総合事務局としては、引き続き沖縄の振興・発展に向け、道路や港湾・空港、公園といったインフラ整備、並びに国の活動を支える官公庁庁舎等の整備に取り組んでまいります。

皆様方と関わりの深い官庁営繕事業では、大規模災害の発生に備え、地域と連携した防災拠点となる那覇第2地方合同庁舎（3号館）が昨年9月に完成しました。災害対策に従事する沖縄気象台や当局南部国道事務所などを那覇新都心地区に集約することで、災害発生時の連携が強化されるとともに、当施設は、周囲の避難所の機能を補完するため、帰宅困難者の一時滞在を想定して計画されております。今後も質の高い官庁施設の整備を推進してまいります。

首里城正殿の復元については、昨年末までに県産赤瓦の瓦葺き工事が概ね完了し、現在、内部の造作工事、漆塗り工事、彩色工事を進めているところです。今年は素屋根を解体し工事中の正殿の姿があらわになる予定です。

復元にあたっては、首里城復興基金を活用し

た沖縄県による調達品として昨年より多くの彫刻類が納入されており、今年は正殿の屋根で象徴的な龍頭棟飾（りゅうとうむなかざり）、鬼瓦（おにがわら）等が納入される予定です。今後とも関係機関と連携し、令和8年秋の正殿復元に向けて取り組んでまいります。

これらの事業に携わり、重要な役割を担う貴協会の皆様を取り巻く環境として、就業者の減少や高齢化、若年入職者の減少が顕在化しており、中長期的な担い手確保をはじめとする経営の安定化が喫緊の課題となっております。

沖縄総合事務局としても、これらの課題に対応し、建設業がより働きやすい環境となるよう、長時間労働の是正や適正な賃金水準の確保、技能労働者の処遇改善等に取り組んでまいります。特に長時間労働の是正では、猛暑日も考慮し、より適正な工期設定となるよう取り組んでおります。また、令和6年度から月単位での週休2日の確保にも取り組んでおり、引き続き働き方改革に向けた取組を推進してまいります。

これらの取組に加え官庁営繕事業においては、後工程となる設備工事に全体工期のしわ寄せを生じさせないよう、総合試運転や諸検査に必要な期間を考慮し、発注段階で概成工期を設定するなど、適正な施工期間を確保してまいります。また、BIMの活用や現場における設計意図の的確な反映など「働き方改革」、「生産性向上」の歩みを、皆様のご協力を得ながら、更に進めてまいります。

結びに、貴協会の更なる発展と、本年が、協会会員の皆様にとりまして希望に満ちた、飛躍の年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春を迎えて



先端技術と働き方改革で持続可能な 建設業界のあるべき未来へ

那覇市長 知念 覚

さちうふさるみーどうし うむけーしくとうとう
うゆるくびうんぬきさびら。

希望にあふれる新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人沖縄県電気管工事業協会の皆様におかれましては、日頃より本市のまちづくりに多大なるご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

昨年は年明け早々、能登半島地震や航空機の衝突事故といった大きな災害や事故が発生、波乱の幕明けとなった年でした。米の価格に象徴される収まらない物価の上昇や103万円の壁問題、米国大統領選におけるトランプ元大統領の返り咲き、シリア政権の崩壊など、国内外問わず様々なニュースが相次ぎました。

そうした中、大リーグ大谷翔平選手の活躍は、多くの人々に夢と希望を与えたことは記憶に新しいところです。年末には本市にゆかりのあるロサンゼルス・ドジャースのデーブ・ロバーツ監督が沖縄を訪れ、ロバーツ氏に対しまして、本市は特別栄誉賞をお贈りいたしました。

話題はさておき、本市では今年も「なはで暮らし、働き、育てよう」協働の絆、平和の絆、多様なつながりで共に助け合い、お互いの幸せを地域と福祉で支え合う、誰もが輝き、お互いに認め合い、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

庁舎等の施設におきましては、中央消防署（仮称）識名消防出張所建設、防災行政無線の整備、総合福祉センター等のLED化及び消防設備の改修等を進め、効率的な施設運用を図るとともに、環境に配慮した脱炭素社会実現の一助となるよう取り組みます。

学校施設におきましては、与儀小学校給食調理場改築、安岡中学校外1件長寿命化予防改修、首里中学校バリアフリー化等施設整備、安謝小学校空調設備更新等の工事を推進し、児童・生徒のための安全安心な学習環境づくりに取り組みます。

市営住宅におきましては、宇栄原第6期建替、石嶺第7－1期建替、真地第2期建替を推進し、

市民が安心して住める住環境の整備に取り組みます。

皆様におかれましては、本市のこれまで行ってきた事業にご尽力いただいたことに感謝するとともに、引き続き、これらの事業の円滑な実施に向け、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年は、日本に住むすべての人を対象とする国勢調査が実施されます。国勢調査から得られるデータは、子育て支援や防災対策などの様々な施策の基礎資料として利用されます。那覇市では人口が2016年をピークに減少しており、人口減少問題への対応が大きな課題となっております。

皆様におかれましても、労働人口が減少する中、若手技術者の担い手の確保、育成が難しくなっていると伺っております。「働き方改革」が叫ばれる中、建設業界では週休2日制の取り組みが一層加速するものと考えております。本市としましては、これまでと同様、地元企業優先、分離・分割発注の方針とともに、適切な工期確保に努めてまいります。

また、近年、生成AIなどのデジタル技術の発展は目覚ましく、私たちの生活をはじめ社会、経済活動に大きな変化をもたらしております。これらの先進技術の発展は、従来の行政サービスや課題解決の在り方を大きく変える可能性を秘めております。皆様の建設業界におかれましても、デジタル・トランスフォーメーション、いわゆるDXの導入を促進することで、生産性の向上や品質確保はもとより、施工現場における安全管理にも資するものと期待しております。

本市は、皆様とともに今年度予定している各事業を着実に進めることで、市の最上位計画である「第5次那覇市総合計画」において掲げた「めざすまちの姿」を実現し、国連が提唱する「SDGs」の理念に沿った、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

最後に、一般社団法人沖縄県電気管工事業協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

いっぺー にふえーでーびる。

新春を迎えて



多様な人材が“いきいき”と活躍し、魅力と活力にあふれ、将来に希望の持てる電設業界へ

一般社団法人 日本電設工業協会
会長 文挾 誠一

皆さま明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆さまには当協会の活動に対し日頃から多大なご支援を賜り、この場を借りまして心から御礼申し上げます。

さて、電設業界では、昨年4月から適用が開始された罰則付き時間外労働の上限規制に対応するため、これまで業界一丸となって「働き方改革」を推進してまいりました。しかしながら、将来を担う若い世代にとって、電設業を「魅力ある、希望の持てる、働きがいのある」働き場とするためには、上限規制の適用を梃子に「働き方改革」をさらにシンカ(深化、進化)させていく必要があります。協会本部としても、建築工事の最終ランナーである電設工事業は自助努力だけでは対応に限度があることから、一昨年に引き続き、現場の後工程という同じ悩みを抱える(一社)日本空調衛生工事業協会さんとも共同で発注者等への働きかけを行いました。今後も現場の実情をきめ細かく汲み取りながら、適正工期の確保、4週8閉所の実現に向け、発注者、関係機関等への要請を継続してまいり所存であります。改めて、工事関係者の皆さま、読者の皆さまのご理解とご協力をお願いしたいと思っております。

昨年を振り返りますと、資機材の価格高騰や納期遅延など一部で厳しい動きが見られましたが、電気工事の受注高は昨年度と比較して増加傾向にあり、各社の業績も堅調に推移しているものと認識しております。これを表すかのように、昨年5月に東京で開催したJECA FAIR 2024は、出展者数、小間数ともに過去最大規模で開催され、会場は非常に多くの来場者で賑わいを見せるなど、成功裡に終わることができました。出展者の皆さま、ご来場いただいた皆さまに改めて御礼を申し上げます。

また、昨年の会員大会においては「新たな電設業界の構築に向けて第四次アクションプランを始動させよう!」との決議を満場一致で採択いたしました。この第四次アクションプランは2024年度から2027年度までの行動計画であり、重点取り組みとして5つの柱で構成しています。

1つ目の柱は、時間外労働の上限規制適用を梃子に「働き方改革」をシンカさせることであります。

具体的な目標としては、このアクションプランの期間中に少なくとも「4週8休」の実現を目指してまいります。

2つ目の柱は、担い手不足の深刻化に対応した「多様な人材確保・育成と処遇改善」方策を強化することです。女性活躍の推進や外国人技能労働者の受け入れ促進といった施策はもちろんのこと、電設業が「エッセンシャル・ワーク」であり、社会的使命を担う働きがいのある職場であることを、小中学生から大学生に至るまでの幅広い世代に、幅広いチャンネルで積極的に情報発信し、未来に向けた人材獲得の種まきを行ってまいります。

3つ目の柱は、生産性向上、省エネ・脱炭素化など、人口減少下での社会・地域のGX(グリーントランスフォーメーション)実現に貢献する新技術の開発・普及に積極的に取り組むことです。

4つ目の柱は、請負契約の見直しによって受発注者間の対等な関係の構築に向けた条件整備や関係者・関係機関とのコミュニケーションの充実を図り、労務費の適切な転嫁と適正な工程の確保、工程の遵守に向けた実効性の向上を進めてまいります。第三次・担い手3法の一部が昨年12月13日に施行され、価格転嫁・工期変更協議の円滑化ルールを導入などが行われました。会員の皆さまにおかれましては、改正内容を事業活動の中に十分に取り込んでいただくことが必要であり、協会としても周知に努めてまいります。

最後の5つ目の柱は、電設協としての会員サービスを充実させるとともに、広報・広聴活動を強化し社会への発信力を強化してまいります。

これら5つの柱に沿って、「多様な人材が“いきいき”と活躍し、魅力と活力にあふれ、将来に希望の持てる電設業界」を目指し、行動する電設協として活動を進めてまいります。

結びに、今年の干支は「己巳(きのとみ)」です。この組み合わせは「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起の良い意味を表しているそうです。干支にあやかり、本年が電設業界の更なる発展と会員企業の皆さまにとって満願成就の年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新春を迎えて



新たな中期ビジョンに基づき 業界の将来を見据えた活動推進

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会
会長 藤澤 一郎

新年明けましておめでとうございます。

令和7年の年頭に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

去年は能登半島では元日早々の地震に加え、9月には豪雨により震災被害に追い打ちをかけるような被害も発生しています。これらの災害により被災された方々に対しまして、心よりのお見舞いとともにより早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、我が国の経済は、3月に日銀が17年振りにマイナス金利を解除し、賃上げに向けた政府・産業界の取り組みと相まって、物価上昇と金利のある普通の経済に戻ることが期待されましたが、賃金は上がったものの、それを上回る物価上昇により実質賃金のマイナスが継続し、残念ながらデフレからの完全脱却は未だ道半ばという結果でした。経済以外では、7月から9月にパリでオリンピック・パラリンピックが開催され、日本人選手が大活躍しましたが、会員企業の三建設工業㈱の草場選手が車いすラグビーに出場し、金メダルを獲得するという大変嬉しいニュースもありました。その他、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞、MLBの大谷選手が史上初の50-50の達成により3度目のMVP受賞等々記憶に残る出来事もあった一方、去年の夏も災害級の猛暑が連日続き、記録的な豪雨が各地を襲いました。政治面では、10月に岸田内閣に代わり石破内閣が発足しましたが、月末の総選挙の結果、少数与党となったほか、アメリカではトランプ氏が大統領に返り咲くことになりました。

空調衛生工事業界についてみると、4月からは時間外労働の上限規制が適用となり、これまで様々な準備をしてきたものの、好調な受注が続いているだけに、構造的な人手不足も重なって、この一年会員企業の皆様は難しい舵取りを強いられたことと思います。最近、資材価格の高騰や労務費の上昇により、民間の設備投資で一部先送りや中止がみられますが、全体としてはタイトな需給環境が継続しています。加えて、今年度から防衛省の自衛隊施設の強靱化に向けた工事発注が本格化するとともに、年末には、石破総理が防災対策として、避難所となる学校体育館の空調整備のペースを2倍に加速するという方針を示しています。我々業界としては、我が国の産業基盤を支え、国民の安心・

安全を守るためにも、これらの期待に応えていく必要があります。そのためにも、働き方改革を更に推進し、将来の担い手の確保に努めていくことが求められています。今年度末には、「働き方改革の推進に関する行動計画」を改定し、業界を挙げて長時間労働を前提とした労働慣行からの脱却を図り、実労働時間の短縮とともに、施工現場の土日閉所の実現に努めることとしています。また、国においても、6月に建設業法等が改正され、昨年末には価格転嫁協議の円滑化ルール、現場技術者専任義務の合理化関連の規定が施行されるとともに、今年末までに中建審による「労務費の基準」の作成・勧告に基づく労働者の処遇改善関連の規定の施行が予定されています。

空調衛生工事業は、設備の設計、施工、運転管理から廃棄に至る活動を通じて、省エネ、省CO2を推進し、脱炭素社会づくりを目に見える形で先導し、地球環境の保全に貢献することが求められています。日空衛では、我が国の2050年のカーボンニュートラルの実現に貢献できるよう5月に「空調衛生工事業のカーボンニュートラル行動計画」を策定し、現在、2030年に向けたロードマップを作成中です。会員企業の皆様のCO2排出量の算定、削減目標の設定等の取り組みに期待するものであります。

また、10月の全国会議では、空調衛生工事業のあるべき姿として「日空衛2025」を策定・公表しました。今後、持続可能な社会への貢献、魅力ある空調衛生工事業への挑戦を目指し、新4Kの達成、BIMの普及、CCUSの活用など中期ビジョンに盛り込まれた様々な取り組みを推進することとしています。

最後に、昨年中は協会運営に当たりまして、役員、諮問委員をはじめ会員の皆様のご協力を賜り心から感謝申し上げます。本年は、第42期を迎えることとなります。日空衛としては、新たな中期ビジョンに基づき業界の将来を見据えた活動を推進してまいりたいと考えております。

本年も業界発展のため、会員の皆様と一丸となって取り組んでまいります。会員各位の協会活動への積極的なご参加、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。



改正建築物省エネ法と 建築設備設計について

(一社) 沖縄県設備設計事務所協会 会長 天願 清政

<はじめに>

「そこに『電気、水、ガス』があるから家になる」。これは、「快適に住む家」を建てるため、沖縄県設備設計事務所協会が標語として掲げている言葉です。

当会では、県民の快適な暮らしを守るため、電気や水道、冷房設備などの機器選定や配置を含む高品質な建築設備設計を目標としています。

2015年に「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）」が公布されましたが、2016年11月に発効した「パリ協定」を踏まえ、2022年に改正法が公布されました。これにより、エネルギー起源CO₂の排出量削減対策として、建築物の確認申請で「省エネ対策」や「再エネ導入」などの検討が必須となりました。このことは、先に述べた「快適に住む家」に新たな要素として省エネ性能が加わり、建築設備設計に新たな課題が生じております。

今回、電管協会報「視点」コーナーをお借りして、改正建築物省エネ法について私見を述べたいと思います。



<改正建築物省エネ法について>

まず、改正建築物省エネ法の概要について説明します。2025年4月から、省エネ性能の底上げを目的に、建築確認では従来の適合、届け出、説明義務に加え、原則としてすべての新築住宅・非住宅に対し、省エネ基準の適合が義務づけられます。これにより、より高い省エネ性能への誘導が図られます。さらに、2030年までには、省エネ基準をZEH・ZEB水準まで引き上げることが予定されています。

この改正により、今後の建築確認申請では、省エネ適判を要する建築物について、構造計算と同様に省エネ計算が必須となります。そのため、省エネ判定員の資格要件である建築設備士の役割が一層重要になると期待されて

県民の暮らしに奉仕する
福山グループ

山 福山建設株式會社

代表取締役社長 湧川 博正

本社／沖縄県浦添市牧港四丁目14番17号
TEL (098) 943-6671 FAX (098) 943-6672

います。

省エネ基準には、住宅のみに適用される「外皮基準」と、住宅・建築物の両方に適用される「一次エネルギー消費量基準（B E I）」があります。建物の用途により異なりますが、基本的には、建築仕様に関わる外皮基準に加え、冷暖房、換気、給湯、照明などの設備機器類の一次エネルギー及び太陽光発電などの創エネルギーを計算し、基準値以下となるように省エネ計算を行います。設備機器の選定においては、消費量設計値を基準値より小さく抑えることが求められます。そのため、省エネ機器の採用が重要となり、不足分については、太陽光発電などの創エネルギー技術の導入が検討されることになります。

＜建築関係における省エネ対策の仕様について＞

参考までに、建築関係の省エネ対策の仕様として、屋根断熱材の厚み、庇の有無、壁の断熱施工、日射対策を考慮した窓、高断熱化などが挙げられます。設備関係の省エネ対策では、特に空調機の効率が大きなウエイトを占めており、全熱交換器の有効活用や、最近話題となっているLED照明の導入が検討されます。また、8地域（沖縄）においては、給湯設備の一次エネルギー消費量の割合が大きく、省エネ効果の高い機器として、ガス従来型給湯機＜ガス潜熱回収型給湯機＜ヒートポンプ給湯機の順で省エネ効果が期待されます。一方で、一次エネルギー消費量の高い貯湯式電気温水器の採用については、今後厳し

くなると考えられます。

創エネルギーについては、住宅の屋根を活用した太陽光発電として、沖縄グループが無料で太陽光パネルと蓄電池を設置するサービス「かりーるーふ」も参考になるでしょう。

＜省エネ適合建築物の施工監理について＞

省エネ適合の対象となる建築物の施工監理においては、設計図書に明示された省エネ基準に関わる建材や設備機器類が、仕様どおりに施工されているかを確認することが求められます。特に、省エネ基準は空調や照明などの建築設備による一次エネルギー消費量に関わるため、機器類の仕様、検査記録などの書類検査や施工記録などを、設計図書に明示された仕様と照らし合わせて確認する必要があります。また、建築士法では、施工監理の際に建築設備士の意見を適宜聞くことが望ましいと規定されており、施工監理においても建築設備士の重要性が高まっております。

＜まとめ＞

以上のように、改正建築物省エネ法の施行により、省エネ計算や施工監理において建築設備士の意見が不可欠となっています。今後、建築設備設計の重要性はさらに高まるものと期待されております。



電材・照明・空調・設備機材の総合卸商社

株式会社 アサヒ

代表取締役社長 福 重 勉

本社/〒900-0012 沖縄県那覇市泊2丁目1番地11 TEL 098-862-8111 FAX 098-863-3044

後工程の設備工事業に負担増の懸念 働き方改革で担い手確保が急務

会長対談シリーズ (50)



(一社) 沖縄県電気管工事業協会

会 長 仲 田 一 郎

沖縄県土木建築部

部 長 前 川 智 宏

令和6年は、能登半島地震や県内の豪雨災害など、自然災害に多く見舞われた一年だった。地域建設業は、災害復旧に欠かせない「地域の守り手」として、その存在意義を改めて認識させられた。

一方、4月から時間外労働の上限規制が建設業にも適用され、現場では生産性向上への対応が急務となっている。竣工時期が集中する年度末を迎えるこれから、その成果を問われる重要な局面となる。特に、電気や管工事など後工程を担う設備工事業界では、さらなる負担の増加が懸念されている。

また、6月には、品確法と建設業法・入契法の改正による第三次・担い手3法が成立し、業界の労働環境や効率性の改善に向けた取り組みが加速した。

そのような中、県土木建築部は沖縄県建設業審議会の答申を受け、同部発注の建設業務委託における最低制限価格の算定式を見直し、10月の入札公告分から適用した。県独自の算定式を用いた改定は今回が初めてで、県内業者が適切な利潤を確保し、次世代の担い手を育成するための大きな一歩といえる。建設工事に関しても、最低制限価格の見直しを進めるべく、11月から審議が行われている。

令和7年は引き続き、持続可能な建設業を実現するため、魅力ある業界づくりを推進し、地域の守り手として活躍できる担い手確保・育成に向けて重要な年となるだろう。建設業界が直面する課題にどう対応し、将来へつなげていくかが問われる一年だ。

今回の新春対談では、県土木建築部の前川部長に昨年の取り組みと成果を振り返っていただき、防災・減災や業労働環境の改善に向けた課題、そして新年の抱負を語っていただいた。変革の時代を迎えた建設業界の今と未来に迫る。

仲田会長

あけましておめでとうございます。(一社)沖縄県電気管工事業協会の仲田一郎でございます。当協会は昭和30年4月に発足し、令和7年に創立70周年という大きな節目を迎えます。これもひとえに、沖縄県をはじめ関係各位の皆様からの多大なるご支援とご協力の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。70周年記念事業としまして、チャリティゴルフコンペ、海外視察研修、首里城公園の清掃ボランティア、記念誌の発行など、幅広い活動を予定しております。これらの事業を通じて、協会のこれまでの歩みを振り返りつつ、新たな時代に向けた一步を踏み出してまいります。これからも、設備工事業界の更なる発展と地域社会の豊かな未来を目指し、会員一同、一丸となって取り組んでまいります。今後とも皆様方の変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、本日の対談は当協会会報誌「電管協会報 第84号」に掲載する新春企画でございます。公務ご多忙の中、お時間を割いていただきましたことに、心より御礼申し上げます。土木建築部の前川智宏部長から設備工事業界、建設業界に対する率直なご意見やアドバイスを聞かせいただければ幸いです。

改めて令和6年を振り返りますと、能登半島地震をはじめ、県内では台湾東部を震源とする地震による津波警報の発令や、北部豪雨災害の発生など、多くの自然災害に見舞われました。これらの災害を通じて、建設業界が「地域の守り手」として果たす役割の重要性を改めて実感した次第です。前川部長におかれましても、令和6年を振り返り、お考えやご感想をお聞かせください。

前川部長

あけましておめでとうございます。土木建築部の前川でございます。まずは、(一社)沖縄県電気管工事業協会が創立70周年という大きな節目を迎えられること、心よりお祝い申し上げます。長きにわたり、設備工事業界の発展と地域社会への貢献に尽力されてきた貴協会の皆様のご努力に深く敬意を表します。仲田会長をはじめ、貴協会の皆様方には、平素より土木建築行政の推進に多大なるご協力を賜り、改めて心より感謝申し上げます。

さて、令和6年を振り返りますと、能登地域では1月の能登半島地震や9月の大雨により甚大な被害が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。本県におきましても、11月に本島北部で記録的な大雨が発生し、床上・床下浸水、土砂災害、停電、道路冠水、断水、護岸崩壊などの甚大な被害が生じ、多くの方々の日常生活に大きな影響を及ぼしました。土木建築部では、北部地域の復旧復興に向けて、市町村や関係機関と連携し、流木の撤去、雑草木・表土の除去、河川の浚渫、県道など県管理施設の復旧に取り組んでおります。この場を借りて、ご協力・ご尽力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

令和7年は、引き続き防災・減災および国土強靱化に取り組むとともに、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づき、安全・安心で幸福が実感できる島の形成を目指し、土木建築部一丸となって各施策を推進してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

技術と信頼でサポートします。

優良認定工場 **JSIA** (社)日本配電制御システム工業会



長嶺電機株式会社

代表取締役社長 長 嶺 義 貢

〒901-2134 沖縄県浦添市字港川512-28
電話(098)878-2121 FAX(098)878-7222
<http://www.nagamine.e-arc.jp>

仲田会長

当協会の創立70周年に際し、温かいお祝いの言葉を賜り、深く感謝申し上げます。加えて、自然災害への復旧・復興に尽力されている土木建築部の皆様のご努力に、心より敬意を表します。当協会としまして、引き続き地域社会の発展と安全確保に貢献すべく、微力ながら努めてまいります。

さて、令和6年は、4月に時間外労働の上限規制が建設業にも適用され、6月には第三次・担い手3法が成立するなど、働き方改革に向けた取り組みが一層求められる一年となりました。これに伴い、業界全体として労働環境や効率性の改善に向けた取り組みが加速しております。これから竣工時期が集中する年度末を迎えるにあたり、工事の後工程を担う我々設備工事業界では、建築工区の工程遅延に伴うしわ寄せの発生を大いに懸念しております。土木建築部におかれましても、働き方改革を推進されていると存じますが、この課題に対する対処について、どのようにお考えか、お聞かせください。

前川部長

当部では、週休2日を前提に工期を設定し、工事を発注しております。営繕工事においては、(一社)日本建設業連合会が提供する「建築工事適正工期算定プログラム」を参考に工期を設定し、建築工事の特記仕様書に概成工期を明記するなど、関連工事において共通認識を持てるよう取り組んでおります。なお、概成工期とは、施設の総合試運転調整に支障のない状態までに各工事を完了させる工期を指しております。

適正工期および概成工期の設定により、関連工事の遅延など、受注者の責めに帰することができない事由が生じた場合には、後工程にしわ寄せが及ばないよう、工期延長について適切に協議し、対応してまいります。設備工事業界の皆様と連携を深めながら、より良い労働環境の整備と業界全体の発展に寄与してまいりたいと考えております。

仲田会長

ありがとうございます。設備工事業界の現状や課題に深いご理解をいただき、心より感

謝申し上げます。特に、適正工期の設定や関連工事における共通認識の形成に向けた具体的な取り組みについてお伺いし、大変心強く感じております。当協会としまして、労働環境の改善や働き方改革の推進に向け、土木建築部の皆様と連携しながら、柔軟かつ適切に対応していけるよう努めてまいります。

また、現在業界全体で深刻化している人手不足の問題についても触れさせていただきます。特に、次世代を担う人材の確保や育成において、生産性向上による労働環境の改善や企業の適正利潤確保が極めて重要な課題と認識しております。こうした課題に対し、土木建築部における具体的な取り組みや展望についてお聞かせください。

前川部長

当部では、労働環境の改善や担い手の確保を最重要課題と認識しており、建設キャリアアップシステム(CCUS)のさらなる活用、週休2日制やICTを活用した工事の推進に努めております。貴協会におかれましても、労働者の健康確保対策や労働災害防止の徹底、適切な賃金水準の確保、適切な労務管理と生産性向上に向けた取り組みを業界全体で進めていただきますよう、お願い申し上げます。

また、当部発注の建設業務委託における最低制限価格の算定式を見直し、令和6年10月入札公告分から適用しております。県独自の算定式を初めて導入したもので、県内業者が適切な利潤を確保し、次世代の担い手を育成するための重要な一歩となりました。

一方で、建設工事における最低制限価格の見直しについても現在、沖縄県建設業審議会にて審議していただいております。公共工事の品質確保や担い手の育成を阻害するダンピング受注を防止し、業界全体の持続可能な発展を実現するために、引き続き適切な価格設定に向けた取り組みを推進してまいります。

仲田会長

ご説明ありがとうございます。最低制限価格の見直しに取り組んでいただいていることに、心より感謝申し上げます。ダンピング受注の防止や公共工事の品質確保、業界の持続



一部区間暫定供用開始した南部東道路

可能な発展に向けたこれらの施策は、私たち設備工事業界にとって重要な支えとなります。企業が適切な利潤を確保することで、将来の担い手確保・育成や魅力ある業界づくりに大きく貢献することを期待しております。

また、土木建築部が現在進めておられる建設事業についてもお聞かせください。

前川部長

はい。土木建築部が推進する事業の一部をご紹介します。まず、沖縄都市モノレールについてです。令和6年の乗客数は多くの月で過去最高を記録しており、県民や観光客にとって欠かせない公共交通機関となっています。今後も乗客数の増加が見込まれる中、混雑緩和と輸送力の向上を目指して3両化事業を進めております。令和6年までに3両編成車両が4編成導入され、混雑がピークとなる時間帯を中心に運行しています。令和7年も引き続き、関係機関との連携を強化し、3両車両の製造や新車両基地の整備を進めることで、さらなる輸送力の増強に努めてまいります。

次に、南部東道路整備についてです。この道路は那覇空港自動車道と南城市を結ぶ高規格道路であり、観光や産業振興の発展に寄与するとともに、医療支援の迅速化など多面的な効果が期待されています。これまでに、南城大城インターチェンジ(IC)から南城佐敷・玉城ICまでの約2km区間を暫定2車線で開通したところです。現在は、南城佐敷・玉城ICから南城つきしろICまでの区間、および南城大里ICから南城大城ICまでの区間を優先的に整備しており、早期供用開始を目指して事業を推進してまいります。

続きまして、幸地インター線は、沖縄自動車道と浦添西原線を結ぶアクセス道路で、沖縄自動車道への交通量転換や那覇都市圏の交通渋滞緩和に寄与することが期待されています。現在、ランプ橋の上部工工事や道路改良工事が進行中で、西日本高速道路㈱と連携し、早期供用開始を目指して事業を推進しております。

首里城正殿復元では、国内外からの寄付金を活用し、赤瓦や木材の調達、象徴的な製作物の制作を進めています。令和6年には赤瓦



モノレール新車両基地の完成イメージ

太陽光・エアコン・キッチンのことなら！



新光産業株式会社



代表取締役社長 新里 正志

お問い合わせはホームページまたはお電話で





仲田会長

6万枚が搬入済みで、令和7年には龍頭棟飾や唐破風妻飾などの搬入を予定しています。また、中城御殿の建設や松崎馬場、世持橋の周辺整備も進行中です。引き続き、防火対策や歴史まちづくりの推進を図り、首里城公園のさらなる魅力向上に取り組んでまいります。

公営住宅整備事業では、安全性や居住性が低下した県営住宅を計画的に建て替えることで、居住水準と住環境の向上を図っております。令和6年には県営平良北団地建替工事(第1期)、県営高原団地建替工事(第1期)、県営南風原第2団地建替工事(第3期)の建替工事が完成し、順次入居が開始されています。令和7年には松川団地建替工事(第1期・54戸)をはじめ団地建替工事を円滑に進め、早期入居を目指して事業を推進してまいります。

仲田会長

詳しくご説明いただきありがとうございます。土木建築部において多岐にわたる事業が計画的に推進されていることを確認できました。これらの事業は地域社会の発展や県民の生活向上に大きく寄与するものであり、設備

工事業界としても深い関心を持っております。今後も、さらなる工事の受注機会拡大についてご配慮いただければ幸いです。当協会としても、微力ながら土木建築部の取り組みを支え、沖縄県全体の発展に寄与できるよう全力で努めてまいります。引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、公営住宅整備事業について、土木建築部では令和5年度にPFI導入可能性調査業務を実施されたとのことですが、従来の分離・分割発注方式ではなく、PFI方式による発注を導入するお考えがあるのか、ぜひお聞かせいただければと存じます。

前川部長

令和5年度に県営住宅建替事業におけるPFI導入の可能性について調査を実施いたしました。しかしながら、現在のところ、基本構想等を策定する段階の県営住宅がないため、具体的な対応については検討していない状況です。今後のPFI導入の可否につきましては、導入の必要性や業者の対応可能性などを総合的に判断する必要があると考えております。従来の分離・分割発注方式とPFI方式にはそれぞれメリット・デメリットがあり、それらを十分に比較・検討したうえで、最適な事業手法を選択してまいります。

仲田会長

ありがとうございます。現在、県営住宅建替事業における具体的なPFI導入計画はないとのことですが、将来的に導入を検討される際には、県内業者が事業に参画できる仕組みづくりにご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

ガスもでんきも！



沖縄ガス

代表取締役社長 湧川 直明

本社 〒900-8605 沖縄県那覇市西3丁目13番2号
TEL 098-863-7730 FAX 098-862-0623

また、令和2年10月に政府が「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、温室効果ガス排出量をゼロにする取り組みが進められています。これを踏まえ、土木建築部では脱炭素社会の実現に向けてどのような取り組みを行っているのか、ぜひお聞かせいただければと存じます。

前川部長

沖縄県におきましても、国が掲げる「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、脱炭素化に向けた取り組みを推進しております。

まず、島しょ県である本県の港湾は、物流・人流の拠点であるとともに、水素や燃料アンモニアなどの脱炭素エネルギーの受け入れ拠点として、重要な役割を担っています。このため、重要港湾である運天港、金武湾港、中城湾港において港湾脱炭素化推進協議会を設置し、関係機関と連携しながら港湾脱炭素化推進計画の策定に取り組んでいます。

また、県管理空港においては、新石垣空港をはじめとする11空港において、航空灯火のLED化を推進しております。下地島空港および与那国空港では空港脱炭素化推進計画の策定に取り組んでいます。

これらの取り組みを進めるうえで、貴協会の皆様のご協力は欠かせません。脱炭素社会の実現には、技術面での協力や施工能力が重要であり、今後ともご支援をお願い申し上げます。私たちとしても、設備工事業界の皆様との連携を深めながら、持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

仲田会長

ありがとうございます。当協会としまして、土木建築部の推進する事業に対し、引き続き協力を惜しまず、地域社会の発展に寄与できるよう努力を続けてまいります。

最後に、前川部長の新年の抱負をお聞かせいただけますようお願い申し上げます。

前川部長

本年も引き続き、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画や「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を踏まえ、空港・港湾の整備、ハシゴ道路ネットワークの構築に向け



前川部長

た道路整備等を推進するとともに、浸水・高潮対策や既存インフラの耐震化・長寿命化など、関係機関等と連携し、取り組みを推進してまいります。

また、建設業界における働き方改革の取り組みを進め、労働者の健康確保やワーク・ライフ・バランスの改善、週休2日の導入など、安心して働ける環境づくりにも注力してまいります。

さらに、インフラ施設等の老朽化対策や脱炭素など重要性を増した課題や、首里城の復興、インフラDX、SDGsやSociety5.0社会の到来を踏まえた社会基盤整備など新たに生じた課題、社会情勢の変化などにも対応しながら、安全・安心で幸福が実現できる島の形成に取り組んでまいります。

結びに、建設業界、設備工事業界のさらなる発展、並びに貴協会会員企業の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

仲田会長

本日はどうもありがとうございました。

本年が良い一年になりますよう祈念しております。



今年正殿に搬入予定の龍頭棟飾

会員ら188人がさらなる飛躍誓う

令和7年新年賀詞交歓会



乾杯で新年の幕開けを祝った

電管協は1月23日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで令和7年新年賀詞交歓会を開き、会員ら188人が参加して新年の幕開けを盛大に祝った。

開会のあいさつをした親泊政夫副会長は「人材確保では厳しい状況が続いている。今年の干支『巳年』にちなみ、私たちは古いものから脱皮し、新しいものへと進化し続けることが求められる。会員同士ともに助け合い、協力し合いながら、さらなる飛躍を目指していこう」と述べた。

続いて仲田一郎会長は「本協会は今年、創立70周年を迎える。多くの皆様の記念行事・祝賀会への参加をお待ちしている。また、電気・配管工の労務単価の改善について依然として課題が残る中、会員の皆様とともにその解決に向けて努力を続けていく」と述べた。

その後、(株)沖縄建設新聞の下地輝昭社長の音頭で乾杯し、新年のさらなる飛躍を誓った。

余興では、(株)沖縄アーツ社長でバイオリニスト兼プロデューサーの與那嶺理香氏が演奏を披露し、



乾杯の音頭を取る下地社長

美しい音色を会場に響かせた。また、景品が当たる抽選会も行われ、特別賞の当選者には仲田会長が景品を手渡した。

中締めのアいさつで新垣光博副会長は「創立70周年を迎えられることに対し、これまでの歩みを支えてこられた先輩方の功績に深く感謝申し上げるとともに、執行部・理事会一同、次の世代へとつなげていく責任を強く認識している。100周年を目指し、さらなる業界の発展に向けて努力を重ねていく」と締めくくった。



地域と共におかげさまで 72 周年
電設資材・照明器具・空調機器販売

株式会社 金城電気商会

代表取締役社長 井 上 直

〒900-0012 沖縄県那覇市泊1-6-7

☎(098)867-3166(代) FAX(098)867-3928

E-mail:nds@kinjo.co.jp <http://www.kds.okinawa/>

創立 70 周年迎える さらなる活躍の年に

(一社) 沖縄県電気管工事業協会

会長 仲田 一郎



新年おめでとうございます。令和7年の新春を迎え、年頭のご挨拶を申し上げます。

初めに、昨年1月に発生いたしました能登半島地震及び9月の豪雨は、能登半島地域に甚大な被害をもたらしました。さらには、沖縄本島北部で11月に発生しました豪雨においても、住宅の浸水や土砂災害など甚大な被害が発生しております。被災された方々に一日も早く平和な日々が戻りますよう心からお見舞い申し上げますとともに、緊急復旧対応に尽力された建設業界の皆様へ感謝と敬意を申し上げます。

電管協も、沖縄総合事務局及び沖縄県と災害復旧支援協定を締結しており、庁舎等が被災した際には、初動体制の維持強化を目的に年1回の情報伝達訓練を実施しております。今年の訓練は、9月2日に各地区の初動対応チーム及び一時待機チームに限定しまして実施をいたします。ご協力をお願いいたします。また、我々は今後とも地域の守り手として、災害復旧支援体制の維持強化に意識を高めてまいりたいと思っております。

旧年中は当協会へ格別なるご支援、ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。協会主催の各種ボランティア活動や、工業高校生を対象とした現場見学会及び公共工事関連の入札契約説明会など、事業計画の大半を目標通りに達成することができました。改めて御礼申し上げます。

今年、本協会は創立70周年を迎えます。これもひとえに会員の皆様、関係各位からの多大なるご支援、ご協力の賜物であり、厚く御礼申し上げます。なお、70周年の記念事業に関しましては、実行委員会を立ち上げ、新聞広告、記念誌の発行、記念チャリティゴルフコンペ、首里城公園におけるボランティア清掃等を企画しております。また、これまで協会活動にご尽力いただきました功労者表彰及び祝賀会は、5月23日の通常総会と併せて開催を予定しております。多くの皆様の記念行事及び祝賀会へのご参加をお待ちしております。

私どもの本業を取り巻く経済環境に関しましては、

新型コロナウイルス感染症の影響による県内経済の停滞から回復し、観光関連施設、官公庁、学校の改築や設備更新、加えて防衛関連の新規事業等が堅調に推移しております。しかしながら、エネルギー、原材料、資機材の高騰に加えて、人手不足による労務費の急上昇など、収益環境の厳しさが増しております。

また、令和6年4月からは、働き方改革関連法案の施行に伴う時間外労働の上限規制の適用も開始され、特に建築工事の後工程を担う我々設備業界は、さらなるしわ寄せの発生が懸念されておりました。一方、令和6年6月に、建設業法、入契法、品確法、いわゆる第三次・担い手3法が成立いたしました。同3法改正は、担い手確保、生産性向上、地域における対応力の強化を目的としており、建設業者の処遇改善、価格転嫁及び工期変更の円滑化など、建設業界が直面する課題解決に向けた実効性のある取り組みになるものと期待されております。改正3法のうち、品確法と入契法は公共工事を対象とするものですが、建設業法に関しては民間工事を含む全工事を対象としていることから、民間工事を受注する機会の多い本協会としては、その実効性に大いに期待しております。

電管協が設立以来取り組んでまいりました分離・分割発注、地元企業優先活用等におきましても、PFIやPPP方式による発注形態への移行が進んでおります。また、防衛省の防衛整備計画に伴う新たな発注方式が始まるなど、業界を取り巻く環境も大きく変化しております。そして、なかなか進展が見られない電工・配管工の労務単価については、会員一社一社のご協力のもと、その改善に邁進してまいりたいと考えております。電管協は、本年の課題解決に向けて協会活動を推進してまいります。引き続き、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、新年が皆様にとりまして、さらなる活躍の年になりますよう、ご健闘、ご活躍、ご安全を祈念申し上げます。簡単ではありますが、新年のご挨拶といたします。

土木・建築・電設・管工事用資材の総合卸売商社

株式会社 安謝鋳物商事

代表取締役社長 仲宗根 重人



●本 社	〒901-2104	沖縄県浦添市当山1丁目3番8号	TEL:098-873-1408	FAX:098-876-4555
●中部営業所	〒904-0011	沖縄県沖縄市照屋3丁目28-15	TEL:098-923-2128	FAX:098-923-5982
●北部営業所	〒905-1152	沖縄県名護市伊差川471-7	TEL:0980-54-8282	FAX:0980-53-0939
ホームページ https://ajyaimono.co.jp			メール : info@ajyaimono.co.jp	

企

画

特

集

令和7年新年賀詞交歓会 写真特集



本 社 那覇市小禄三丁目十番地三
 豊見城営業所 豊見城市宇与根三四〇番地二
 〒901-0152 TEL 098-857-5774
 〒901-0134 TEL 098-844-1600



株式会社祖慶電設工業

代表取締役 平良愛子

電気設備工事・設計施工



空調・衛生・消火設備工事(設計・施工・保守管理)
 株式会社 和高建設工業
[URL:http://wako-oki.com/](http://wako-oki.com/)

代表取締役社長 喜屋武 護

〒901-0156 那覇市田原 4-5-2
 TEL 098-852-1733 FAX 098-858-0902



本 社 沖縄県那覇市小禄二丁目6番地11
 〒901-0152 電話 098-857-2891
 FAX 098-857-2892
 豊見城支店 豊見城市宇高安七〇二番地二〇
 南城市営業所 南城市玉城字堀川五七八番地
 八重瀬営業所 八重瀬町字友寄五三番地の一四



久建工業株式会社

代表取締役 久米清博

管工事(空調・衛生設備)土木工事・施工

<http://www.kyuken-k.co.jp>



高所作業車の試乗が大盛況 第6回おきなわ建設フェスタ



テープカットする児童ら

将来を担う子どもたちや保護者を対象に、ものづくり体験や建設車両試乗、ドローン操作体験、パネル展示を通じて建設産業の魅力や役割を発信する「第6回おきなわ建設フェスタ」（事業主体・おきなわ建設フェスタ実行委員会）が11月10日、沖縄市の県総合運動公園体育館と周辺駐車場で開催された。約1万人の親子連れが来場し、さまざまな体験を通じて建設産業への理解を深めた。

電管協は、沖縄県電気工事業工業組合、(株)沖縄工と共同で5台の高所作業車を用いた試乗会を実施。多くの親子が列を作り、順番待ちをするなど盛況を見せた。電管協の知念徹総務部長は「今年も朝早くから多くの親子連れが訪れ、午前・午後とも大盛況だった。今日体験した子どもたちがすぐに建設業に関わるわけではないが、こうした活動を通じて少しずつ建設業のイメージアップを図

り、10年後、20年後の担い手確保につなげたい」と期待を語った。

親子で来場した父親は「建設フェスタに来たのは初めてだがとても楽しかった。長男が建設業の仕事に憧れているので良い機会になった」と話した。6歳の長男は「高所作業車やユンボに乗ることができてうれしかった。高いところは最初は恐かったけど、だんだん慣れてきて景色がきれいだった」と笑顔で話した。

会場内では、ドローン操作体験、草花寄せ植え、親子木工教室、建築模型製作など、幅広い「ものづくり体験」が行われたほか、金属探知機を使った宝探しや土木関連カードゲーム、VR体験など多彩なプログラムが展開された。屋外では高所作業車やミニ油圧ショベル、大型クレーンへの試乗体験が人気を集め、終日多くの親子連れでにぎわいを見せた。

開場セレモニーでは、来賓に加えて将来を担う6人の児童がテープカットに参加。実行委員会の津波達也委員長は「今年はこれまで以上に展覧内容を工夫し、来場者に喜んでもらえるフェスタを目指して準備を進めてきた。子どもたちにはさまざまな体験を通じて建設産業の魅力を感じてほしい」と話した。



電管協の知念徹
総務部長



高所作業車に試乗する親子



ユンボの操作を体験した

会員企業が各種表彰に輝く

発注機関などによる優良業者等表彰

県企業局や市町村など県内発注機関等による優良業者等表彰式は、2024年8月から25年1月末まで行われ、多数の会員企業が表彰された。

各表彰等を受賞した会員企業・技術者を紹介する（敬称略）。

■県企業局2024年度優良建設業者等表彰

▽福山建設(株)・(株)大設・比嘉工業(株)JV（優良技術者：桃原善昭（福山建設））「石川浄水場粒状活性炭修繕工事」

▽國和設備工業(株)・(株)沖縄工設・(株)イチゴJV（優良技術者：赤嶺斉（國和設備工業））、「北谷浄水場粒状活性炭吸着池改良工事（その4）」

▽不二宮工業(株)・(株)サンライトJV（優良技術者：上間勝信（不二宮工業））「平南取水ポンプ場取水堰改良工事」

■那覇市2024年度優秀建設工事表彰

▽(株)和高建設工業・(株)オカノJV「天妃小学校校舎及びプール改築工事（空調）」

▽(株)山川電気・(株)シンテック・(株)大新電設工業JV「天妃小学校校舎及びプール改築工事（電気）」

▽マエダ電気工事(株)・(有)大和電設JV「本庁舎照明改修工事」

▽(株)オカノ・(株)きらり電設・(有)ミヤギ電工JV「那覇市営奥武山体育施設照明設備等LED化整備工事（スコアボード棟）」

▽(株)沖創工・日進電気土木(株)・(株)新共電気工業JV「那覇市営奥武山体育施設照明設備LED化整備工事（照明塔）」

■沖縄市2024年度優良建設工事表彰

▽(株)テクノ工業・(株)開邦工業JV「沖縄市立越來中学校空調機能復旧工事」

▽重信電気工事(株)・(有)沖送電JV「沖縄こどもの国ライトアップ整備工事（照明制御盤）」

▽第一工業(株)・(有)佐渡山電水JV「沖縄こどもの国ライトアップ整備工事（1工区）」

▽三協電設(株)・(有)共新電気設備JV「沖縄こどもの国ライトアップ整備工事（2工区）」

■宮古島市2024年度優良建設業者表彰

▽(有)松宮開発「伊良部屋外運動場整備工事（多目的運動場・電気）」

▽(有)久貝電設土木「伊良部屋外運動場整備工事（多目的運動場・機械）」

■嘉手納町2024年度優良建設工事業者表彰

▽(株)おきさん「総合福祉センター改修工事（機械設備）」「第三保育所建設工事（電気設備）」

▽(株)比謝川電気「第三保育所建設工事（機械設備）」

■与那原町2024年度優秀建設工事業者等表彰

▽(株)東部電気土木「令和5年度上与那原地内雨



FAX 〇九八八五〇一六二二九

TEL 〇九八八五〇一四七八

営業所 八重瀬町字東風平一三八四一五

本社 豊見城市字与根三三一

代表取締役 比嘉幸宏

ISO認証登録
9001:2015
14001:2015

FAX 〇九八八六八一五四六四

電話 〇九八八六八一六八三二

代表取締役社長 玉城信六



株式会社 東洋設備

三菱重工冷熱(株) 沖縄県総代理店



株式会社 朝日建設工業

代表取締役 狩俣政吉

営業種目
管工事
土木工事
電気工事
建築工事

〒906-0007

宮古島市平良字東仲宗根821-10

TEL(0980)72-7636 FAX73-4378

E-mail: asahi1@kdt.biglobe.ne.jp

水函布設工事」

▽國和設備工業(株)「令和5年度与那原第1配水池緊急遮断弁設置工事(電気計装設備)」

▽(株)東部電気土木「与那原中学校屋内運動場LED取替工事」

■沖縄都市モノレール(株)分岐器設置等に係る表彰

▽(株)國場組・(株)仲本工業・(株)沖電工JV「分岐器設置及びPC軌道桁架設工事」

■2024年度高圧ガス保安関係表彰

【(一社)沖縄県高圧ガス保安協会会長表彰】

▽優良製造保安責任者=與那嶺学(マルキ産業(株))

▽優良保安技術者=西野祐一(沖縄パナソニック特機(株))、玉城賢二(株オカノ)

■2024年度電気保安功労者表彰

【那覇産業保安監督事務所長表彰】

▽小橋川嘉久(三協電気工事(株))

【沖縄電気安全・使用合理化委員会委員長表彰】

▽具志堅寿千(沖縄電力(株))

■2024年度沖縄県産業安全衛生大会

【(一社)沖縄県労働基準協会会長賞】

▽優良賞=金城電気工事(株)

■厚生労働省2024年度高年齢者活躍企業コンテスト

【厚生労働大臣表彰特別賞】

▽金城電気工事(株)

話題

日赤沖縄県支部長感謝状金枠を受ける 2024年度献血運動推進功労者表彰

2024年度献血運動推進功労者表彰式が8月21日、県庁で開かれ、日本赤十字社沖縄県支部長感謝状の金枠に電管協が選ばれた。献血に貢献した個人や企業・団体などを表彰するもので、日赤沖縄県支部の上間司事務局長から仲田一郎会長に感謝状が授与された。仲田会長は「7月に18回目の献血活動を行い、毎年100人前後にご協力いただき感謝している。今後も社会貢献活動の一環として継続していきたい」と笑顔で話した。



日赤沖縄県支部の上間事務局長(左)と仲田会長

Panasonic

空調換気機器・音響機器・昇降機
ホームエレベーター・設計施工・保守管理

沖縄パナソニック特機株式会社

代表取締役社長 玉山憲是

本社 那覇市西2丁目15番1号
TEL 098-868-0131 FAX 098-868-6783
中部営業所 沖縄市美原2丁目25番11号
TEL 098-939-3891 FAX 098-939-3890



本社
豊見城事業部
F T 沖 沖
A E 縄 縄
X X 県 県
L L 豊 那
() 見 覇
○ () 城 市
○ () 市 与
○ () 根 根
○ () 西 原
○ () 五 五
○ () 一 一
○ () 四 四
○ () 番 番
○ () 十 十
○ () 八 八
E-mail: dandenko@jasminc.ocn.ne.jp

代表取締役

宮里敏彦



営業種目
電気工事・空調設備・衛生設備・土木工事

大和電工株式会社

電気設備工事・給排水設備工事・空調設備工事



株式会社 名護電水センター

代表取締役 岸本 稲子

〒905-0017
沖縄県名護市大一中一丁目18番26号
TEL 0980-52-2813
FAX 0980-53-6994

沖縄特電の大城会長が旭日双光章を受章 消防設備業界の発展に尽力



旭日双光章を受章した
大城 英雄氏

(株)沖縄特電の大城英雄会長は、2024年秋の叙勲で旭日双光章を受章した。

大城会長は、1943年生まれ。工業高校卒業後に日本電信電話公社へ入社。1965年6月からは県内のさまざまな企業で電気工事業に携わるとともに、消防防災業務に従事した。1987年12月に沖縄特電に入社して以来、37年以上にわたり消防防災事業を積極的に展開し、2003年9月には代表取締役社長に就任。消防防災機器の普及に努めるとともに、消防用設備等の適正な設置と維持管理を通じて、消防設備業界の発展と防災安全の確保に貢献し、関係方面から厚い信頼を得ている。24年8月から現職。

また、(一社)沖縄県消防設備協会では21年5月に理事長に就任し、消防用設備等に関する各種事業の実施や組織体制の整備、さらなる充実・強化を図る中心的な役割を担った。現在は顧問として尽力している。

これらの取り組みが評価され、15年に安全センター理事長表彰、20年に消防庁長官表彰(消防設備保守関係功労)を受賞している。



先人たちへの感謝を胸に除草や剪定 平和祈念公園で清掃ボランティア



清掃ボランティアの参加者ら

電管協は10月4日、糸満市の平和祈念公園で清掃ボランティアを行い、平和の礎や摩文仁の丘の慰霊塔などを清掃した。(公財)沖縄県平和祈念財団が実施している「平和祈念公園愛護活動」と連携して行っているもので、会員企業から221人が参加した。

清掃活動に先立ち、同財団の金城克也会長は「10月から11月にかけて各県の慰霊塔・慰霊碑で慰霊祭が催される。皆さんには、その前の清掃活動として長年続けてもらっている。高所作業車による立木剪定も行ってもらえることは本当にありがたい」と謝意を示した。続けて電管協の金城正司副会長は「さらに素晴らしい公園となるよう、心を込めて清掃作業を行ってほしい」と会員らに呼び掛けた。



刻銘板を水洗いした



立木剪定に励んだ

会員らは戦没者へ黙祷を捧げた後に、園内の除草作業や落ち葉拾いなどに加え、平和の礎の刻銘

板を水洗いし、念入りに拭き上げた。また、高所作業車を(株)沖電工が3台、(株)那覇電工が1台、(株)奥原電設が1台用意し、高木剪定にあたった。

花壇の除草作業を行った沖縄パナソニック特機(株)の天久聖也氏は「先人たちへの感謝の気持ちを持って清掃活動にあたった。自分の心まできれいになったみたいだ」と笑顔。摩文仁の丘を清掃した三栄工業(株)の池原雅斗氏は「慰霊祭で訪れる県外観光客などにもきれいな公園を見てほしい」と話した。

県内各地で清掃ボランティア

中・北部地区、宮古地区、八重山地区

電管協は11月29日、沖縄市の県総合運動公園オートキャンプ場で清掃ボランティア活動を行った。地域社会への貢献を目的として毎年実施しているもので、中・北部地区の会員ら約60人が参加した。

清掃に先立ち、田端智副会長は「指定管理者の尽力でゴミはほとんど見当たらないが、より快適な利用環境を目指し、落ち葉の清掃を中心に取り組もう」と呼びかけた。

参加者らはキャンプ場や海岸でゴミや落ち葉を分別しながら収集を進め、多くのゴミ袋が満杯となった。収集された落ち葉は、年末に焚き火や焼き芋づくりの燃料として活用された。

清掃ボランティアに参加した琉球通信工事(株)

の田中聖氏は「落ち葉やゴミが片付き、景観が整ったキャンプ場を見て、利用者が心地よく過ごせる環境づくりに少しでも貢献できたことをうれしく思う。これからも協会の活動に積極的に参加したい」と話した。

また、宮古地区と八重山地区では8月28日、各所管土木事務所が主催する「令和6年度道路クリーン作戦」に参加した。宮古地区では10社20人が参加し、県道78号平良城辺線沿いの清掃にあたった。八重山地区では11社13人が参加。国道390号バイパスなどで道路沿いの除草や空き缶の収集に取り組んだ。



中・北部地区は
県総合運動公園を清掃した



道路クリーン作戦に参加した
宮古地区の参加者ら



八重山地区でも清掃活動を実施した

本 店 那覇市前島二丁目一五番二七号
電話 (098) 八六三二六〇三
八六三二六〇三
FAX (098) 八六三二六〇三
社 浦添市宮城六丁目二一五番五号
電話 (098) 八七八一三五七六

代表取締役社長 親 泊 政 夫

南西電設株式会社

<http://www.nanseidc.co.jp/>

確かな技術で地域・社会に貢献

総合建設業〈電気・管・土木・建築・オール電化〉
一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会 会員

株式会社 紫電舎

代表取締役 新城 永一郎

〒907-0002

沖縄県石垣市字真栄里375番地の8

TEL(0980)82-4811

FAX(0980)83-1409



沖縄県知事(特-2)2652号

(株)ゼネラル電設

営業種目: 電気設備工事・設計・施工

代表取締役社長 新川 秀盛

事務所 那覇市首里大名町1丁目126番地6

〒903-0802 ☎ 098(887)3012・(887)3581

FAX 098(885)7885

E-mail: zeneraru@nirai.ne.jp

25年度沖縄振興予算は2642億円

公共事業関係に 1258 億円

政府は12月27日、2025年度沖縄振興予算案を総額2,642億円で閣議決定した。24年度当初に比べ36億円の減額。公共事業関係費等は24年度当初並みの1,258億円で、道路や港湾、空港などの整備、学校施設の耐震化、首里城復元に向けた取り組みを進める。公共投資は24年度当初に比べ140億円減の1,650億円となった。

沖縄振興一括交付金は総額721億4,300万円で、24年度当初に比べ41億1,200万円の減額となった。沖縄振興公共投資交付金（ハード交付金）は379億8,400万円で24年度当初より11億7,800万円の増額。沖縄振興特別推進交付金（ソフト交付金）は341億5,900万円で24年度当初に比べ52億9,000万円（13.4%）の大幅減となった。一方で、ソフト交付金を補完し、市町村などの事業を推進するため、国が直接交付する沖縄振興特定事業推進費には、24年度当初を10億円上回る95億円を計上した。

公共投資は道路に361億900万円、港湾に149億6,000万円、空港に114億3,000万円、住宅都市環境に73億3,100万円、水道廃棄物処理等に93億1,500万円、農林水産基盤に181億6,300万円などを盛り込んだが、沖縄国立大学法人施設経費が皆減となり、24年度当初より7.9%減となった。道路事業では、小禄道路などの那覇空港自動車道や浦添北道路Ⅱ期線、読谷道路などの整備を推進。港湾事業では、那覇港や平良港、石垣港などで機能充実を図る整備を進める。空港事業では、那覇空港の国内線ターミナルビル前面の高架道路を国際線ターミナルビル前面まで延伸する工事などを行う。都市公園事業では、首里城正殿の復元に向けた工事などを進める。地方公共団体が実施する道路や下水道、河川などの整備を推進する社会資本総合整備交付金には166億8,900万円を計上した。

このほか、沖縄科学技術大学院大学（OIST）の施設整備や運営などに要する経費に200億8,200万円、北部振興事業費（非公共）に49億5,000万円、沖縄不発弾等対策事業に26億7,100万円などを計上した。

新規では、沖縄の離島を対象に無電柱

化を実施する際の電線管理者負担を軽減するための補助を行う沖縄離島無電柱化緊急対策事業に2億6,600万円、特定駐留軍用地内などにおける自治体の計画的・継続的な土地の先行取得の取り組みを支援する駐留軍用地跡地先行取得事業費に67億8,000万円などを盛り込んだ。

玉城デニー知事は「予算案では、今年度当初予算額から36億円の減額となり、沖縄振興特別推進交付金についても減額となった。一方、沖縄振興公共投資交付金が増額されたほか、新たに航空関連産業クラスター形成促進に係る経費などが計上されるとともに、これまでソフト交付金で実施してきた離島住民などの移動費負担軽減に係る経費などが別立てで計上された。また24年度補正予算でハード交付金などが計上され、厳しい財政状況の中、配慮がなされたと認識している」とのコメントを発表した。

25年度沖縄振興予算案の公共投資予算内訳

（単位：百万円）

事 項	25年度	24年度	増減比
○沖縄振興交付金事業推進費	72,143	76,255	5.4%
沖縄振興特別推進交付金	34,159	39,449	△13.4%
沖縄振興公共投資交付金	37,984	36,806	3.2%
○公共事業関係費等※	125,839	126,215	△0.3%
◇公共事業関係費※	121,843	121,775	0.1%
・治山治水	5,227	5,227	増減なし
治水	4,797	4,797	増減なし
治山	356	356	増減なし
海岸	74	74	増減なし
・道路	36,109	36,085	0.1%
・港湾空港※	26,390	26,360	0.1%
港湾	14,960	14,930	0.2%
空港※	11,430	11,430	増減なし
・住宅都市環境	7,331	7,355	△0.3%
道路環境	7,331	7,355	△0.3%
・水道廃棄物処理等	9,315	9,277	0.4%
水道	3,360	3,360	増減なし
廃棄物	1,206	1,206	増減なし
都市公園	4,711	4,711	増減なし
・農林水産基盤	18,163	18,163	増減なし
農業農村基盤	13,532	13,532	増減なし
森林整備	271	271	増減なし
水産基盤整備	4,360	4,360	増減なし
・社会資本総合整備	16,689	16,689	増減なし
・施設費	5,198	20,521	△74.7%
公立文教施設	3,996	4,440	△10.0%
大学院大学施設	1,202	1,818	△33.9%
沖縄国立大学法人施設	0	14,262	皆減
○不発弾等対策経費	2,671	2,561	4.3%
○沖縄振興特定事業推進費	9,500	8,500	11.8%
公共投資累計※	179,101	179,724	△0.3%

（注）四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない
※自動車安全特別会計空港整備勘定計上分含む

働き方改革などテーマに議論

沖総局と意見交換会開催



あいさつする小塚営繕調査官（左）と仲田会長

電管協と沖縄総合事務局は8月22日、那覇市の電管協会館で営繕工事に関する意見交換会を開いた。建設業の時間外労働の上限規制を念頭に、電管協では現場の休日確保などで実効性のある取り組みを求めたほか、総合評価の加点などについても対応を求めた。

冒頭、沖総局開発建設部の小塚達史営繕調査官は「時間外労働の上限規制を踏まえ、今年度から新たな取り組みを行っており、働き方改革の一層の推進を図っていく」とあいさつ。仲田一郎会長は「工事の後工程を担う設備業界へのしわ寄せなど、解決すべき様々な課題が想定される。今後の方針や考え方をご教授いただきたい」と述べた。

意見交換では、沖総局が今年度から実施している猛暑を考慮した工期設定、月単位の週休2日の確保、現場の環境改善（ウィークリースタンスの取り組み）などについて概要を説明。このうち、月単位の週休2日に関して電管協の宜保勝専務理事は、労務費の補正係数が1.04で、週休2日を確保するための経費分を考慮すると数値が小さいと指摘。実勢に合わせて引き上げるよう要望した。これに対して沖総局では「補正係数は、標準仕様

書や設計労務単価に週休2日制が考慮されている前提で設定している」と説明した。

電管協はこのほか、総合評価方式で評価対象となる週休2日工事の実績について、現行の「過去1年以内」では設備系の対象工事が少ないとして、期間の延長を求めた。これについて、沖総局は「土木と設備を含む建設系の工種は過去1年以内と期間を合わせているが、全国の地方整備局の状況を確認の上、検討する」と回答した。

また、電管協は総合評価方式における工事实績の評価基準について、他省庁の「より同種工事」と沖総局の「同種工事」が同点であることにに対し説明を求めた。沖総局は「同種性及び品質確保の観点から同点としている。工事实績の対象期間を過去15年とし、加点の優位性を確保している」と説明し、理解を求めた。

意見交換には、沖総局から小塚営繕調査官をはじめ営繕監督保全室の長浜政明室長ら8人が参加。電管協からは仲田会長、親泊政夫副会長、新垣光博副会長、金城正司副会長、宮城剛理事、比嘉幸宏理事、久高将泰理事、宜保勝専務理事、知念徹総務部長が参加した。



沖総局の新たな取り組みが紹介された



先進技術を以て地域社会に光を灯す

沖縄県知事許可(特-2)第94号 電気工事業・電気通信工事業

光通信工業株式会社

代表取締役 島袋 剛

〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-4-10
TEL:(098)878-5111 FAX:(098)870-1092



〒901-2223
FAX 沖縄県宜野湾市大山七丁目三番九号
E-mail:kiden@bird.ocn.ne.jp

代表取締役 新城 昌人

株式会社 機電工業



三協電気工事株式会社

代表取締役会長 松島寛行
代表取締役社長 松島寛和

本社
〒900-0005 那覇市字天久903
TEL(098)868-8141 FAX(098)868-2209

豊見城営業所
〒901-0213 豊見城市高嶺589-12 2F

中部営業所
〒904-0034 沖縄市山内3-14-30 301

照明LED化で入札要件適正化など要望

県土木建築部と意見交換

電管協は11月18日、県土木建築部との意見交換会を県庁内で開き、公共施設のLED化事業での県内企業の活用などを要請。適正な利潤が確保できる入札要件の設定、発注仕様書の適用なども求めた。

冒頭あいさつに立った仲田一郎会長は「照明LED化事業では、これまでの地元企業優先活用、分離・分割発注方針を維持し、品確法に基づく理念も貫いてほしい」と訴えた。

これに対して同部技術・建設業課の安里嗣也課長は「LED化事業は各所管部署で個別に事業を進めるが、土木建築部では担い手3法をはじめとする関係法令と入札契約に関する規定などに基づいて取り組みを進める」と強調。今後の事業展開については「所管施設の調査を行っており、全照明LED化に向けたロードマップを作成している。他県での事例なども参考にしながら、早期達成に取り組む」と方針を示した。

意見交換で電管協は、県総務部が実施したLED化事業の公募要件に関して最低制限価格設定や工事の前金払い、入札参加資格などの条件を含まない内容となっていたと指摘。土建部所管施設の照明LED化事業では、従来の公共工事の発注仕様を適用することなどを要望した。

また、電管協では空港照明改良工事に使用するLED灯具の見積もりが取得できない事態が発生していることを問題視し、県に説明を求めた。これについて土建部の担当者は、国土交通省の航空灯火用特殊材料単価表に記載されたメーカーを対象とした聞き取り調査の結果を報告。それによると、九州・沖縄地区ではメーカーを通じて価格を提示する代理店が1社しかない製品があり、施工業者が見積もりを取れないケースがあることが判明したという。また、代理店による新規取引業者の審査に2週間程度の期間を要することも確認され、県は代理店に対して競争の公平性を損なうと指摘。代理店でも今後改善に努める意向を示しているとした。

同部では、県管理空港の滑走路や誘導路などのLED化事業の進捗状況についても、年度内に全体の3割程度を整備し2030年度までに全体を完了させるとの見通しを示した。一方で、昨年以降工事の入札不調が続き、計画が順調に進んでいないところもあると現状を説明。「空港工事では規制や制約が多く、参入しにくいといった指摘がある



照明LED化事業などについて意見を交わした

ため、工事实績の要件を緩和し、多くの業者が参加できる取り組みを進める。初めて入札参加を検討する業者向けの講習会も検討している」と対応策に理解を求め、積極的な入札参加を呼び掛けた。

電管協は引き続き、県が23年度に実施した県営住宅建替事業におけるPFI導入可能性調査の報告を求めるとともに、PFIを導入する場合に県内企業が参画できる仕組みづくりを要望した。これに対し県は、調査結果について、建替を予定している団地をモデルケースとして検討を進めたことを説明。PFI導入の可否について、導入の必要性や業者の対応可能性を含め、総合的に判断していく方針を強調し、従来方式とPFI方式それぞれのメリット・デメリットを踏まえ、最適な事業手法を選択する考えを示した。現時点では数年以内にPFIを採用する具体的な計画はないとしている。県内企業の事業参画については、事業方式や発注方式にかかわらず、受注機会を得られるよう努めるとした。

電管協ではこのほか、消火設備など専門工事の積算方法見直し、総合評価方式における週休2日工事实績評価の実績証明対象期間の延長、配置予定技術者の資格年数による加点見直しなどを要望した。

意見交換を終えた技術・建設業課の安里嗣也課長は「業界の皆様が工事を受注しやすくなるよう取り組む。また、働き方改革の一環として、事務作業の効率化など現場が働きやすい環境整備に注力していく」と述べた。

意見交換会には、県土建部から安里技術・建設業課長、仲本利江施設建築課長ら13人が参加。電管協からは仲田会長、親泊政夫副会長、新垣光博副会長、金城正司副会長、比嘉幸宏理事、久高将泰理事、宜保勝専務理事、知念徹総務部長が参加した。

親世代へのアプローチ重要

工業高校教諭と意見交換会



意見を交わす電管協役員（右）と工業高校教諭ら

電管協は8月29日、那覇市の電管協会館で県内工業高校教諭との意見交換会を開催した。工業高校の新卒者を対象とした入職促進などを目的に毎年行われているもので、設備系学科の担当教諭と設備工事業の魅力発信や入職促進につながる取り組みなどについて意見を交わした。

意見交換で担い手確保・育成委員会委員長を務める田端智副会長は「現役世代の高齢化や若年労働者の入職者減少で技術労働者の不足が深刻な課題となっている」と設備工事業の厳しい現状を説明。建設業は低賃金で長時間労働というイメージが強く、若い人の入職減少にも影響しているとの見方を示し、意見を求めた。

これに対し、南部工業高校で建築設備科を担当する仲里裕樹教諭は「求人に対する就職申込には親の承諾も必要で、建設業界を目指す際にも親世代の理解が欠かせない。建設業界が実施している働き方改革の取り組みを幅広く周知す

ることで業界の魅力をアピールし、親世代へのアプローチを強化する必要がある」と指摘。さらに仲里教諭は「生徒自身が働くことを具体的にイメージしやすいように、取得した資格や働いた年数などによる給与やキャリアパスを示して、将来のビジョンを見える化することも理解につながる」などとアドバイスした。

このほか参加教諭からは「県外企業が給与面で優位になるのは仕方がないが、給与以外の福利厚生を充実させたり、半年間は県外で研修を行うなど、企業が若年者の要望に合った柔軟な取り組みを行う必要がある」との意見もあった。また、若年層が興味を持つきっかけとして、先輩社員の紹介や企業の雰囲気やSNSで発信する必要性が強調された。

意見交換会には、電管協から仲田一郎会長と田端副会長、親泊政夫副会長、新垣光博副会長、金城正司副会長、奥原聡理事、砂川一晃理事、宜保勝専務理事、知念徹総務部長が参加。工業高校からは南部工業高校の仲里教諭をはじめ、同校電気科の保田盛健太教諭、美里工業高校設備工業科の友利輝則教諭、同校電気科の兼島兼太教諭、沖縄工業高校情報電子科の友利博義教諭、浦添工業高校情報技術科の當眞嗣貴教諭が参加した。

第一工業株式会社

代表取締役社長 上里 幸春
取締役工事部長 比嘉 一貴

〒904-2155

沖縄県沖縄市美原3丁目18番13号

TEL:098-934-9801

FAX:098-934-9802



〔土木・電気・水道・排水・衛生・空調〕
〔御見積・設計・施工・設備資材販売〕
石垣市給水工事指定工事社
石垣市排水工事指定工事社
ダイキン空調機器特約店
<ルームエアコン販売・取付>

株式会社 三光電設

代表取締役社長 栗盛 卓

本社：沖縄県石垣市字平得212番地

☎(0980)82-3836 FAX(0980)83-2047

三光電材センター：沖縄県石垣市字平得207番地1

☎(0980)83-5423 FAX(0980)83-5329

21世紀のエコロジーを創造する企業

株式会社 きらり電設



代表取締役 喜納 政之

現場見学で作業の繊細さを実感

美里工業生を首里城に案内



復元現場を見学する電気科の生徒ら

電管協は12月6日と11日、美里工業高校の生徒を対象に現場見学会を実施した。6日には電気科2年生72人、11日には設備工業科1年生23人が参加し、那覇市の首里城復元工事現場を訪問。沖縄総合事務局の職員による説明を受けながら、現場を見学した。

見学会の冒頭、仲田一郎会長は「首里城は琉球王国時代の木造建築を再現したものだが、目に見えない場所に最新の電気機械設備が導入され、防災設備も整備されている。全国から集まった一流の職人やその技術を学ぶ若手職人たちの活躍を見て、今後の学習や進路選択の参考にしてほしい」と挨拶した。

沖縄総合事務局開発建設部営繕監督保全室の長浜政明室長は「首里城火災から5年が経過し、現在進められている復元工事では防火対策の強化が最重要課題となっている。現場では多くの職人が、以前よりも耐久性に優れた高品質な建物を目指して作業に取り組んでいる。こうした姿を間近で見ることが建築への興味を深めるきっかけになり、進路を考える際の参考となれば幸

いだ」と述べた。

見学会では、はじめに沖縄総合事務局の職員が工事概要について説明。BIMデータを活用し、照明設備や配管、防災設備の配置について解説した。平成の復元時から変更した点として、低照度型監視カメラ、煙感知器・熱感知器の設置などを挙げ、炎感知器、放火監視センサー、火災時の自動通報装置、スプリンクラーの新設も紹介した。

その後、生徒らは作業が行われている復元工事現場に移動し、瓦葺きや塗装作業が進行する様子を間近で見学した。

見学会に参加した電気科2年の比嘉祐斗さんは「多くの方々の協力で施設を見学できたことに感謝している。現場で多くの職種の人々が働く姿を見て、多くのことを学ぶことができた」と感想を述べた。設備工業科1年の下地将平さんは「復元について漠然としたイメージしか持っていなかったが、見学会を通じて作業の大変さや繊細さを実感できた。学校で学んでいることをしっかり身につけ、将来は沖縄のために貢献したい」と笑顔で話した。



工事概要の説明を受ける設備工業科の生徒

信頼で創るより良い環境



電気設備・電気通信
消防施設 施工

沖電水工事株式会社

代表取締役社長 當山 雅治

〒900-0016

那覇市前島2丁目1番10号

TEL (098) 867-6311

FAX (098) 868-3282



株式会社 丸 秀

土木工事・建築工事・電気工事・管工事

代表取締役会長 伊良皆 榮

代表取締役社長 伊良皆 勝浩

〒906-0007

沖縄県宮古島市平良字東仲宗根三五〇番地

TEL (098) 721-3396

FAX (098) 721-9200

E-mail: maruhide@mocha.ocn.ne.jp



〒900-0002

那覇市曙一丁目八番一

TEL (098) 867-1751

FAX (098) 867-1751

私達は持続可能な開発目標(SDGs)

を支援しています。

代表取締役 新垣 光博



ISO 9001
ISO 14001

ダイキン空調機特工店 桐和空調設備株式会社

柵原氏が社会人の心構えを説く

八重山商工高校で職業講話



講話に耳を傾ける生徒

電管協は10月24日、県立八重山商工高校電気科の1・2年生35人を対象に職業講話を行った。那覇電気工事業協同組合の柵原さやか事務局長が講師を務め「会社が求める人材とは～人生イロイロ～」と題して、電気工事業の魅力や社会人としての心構えを説いた。

柵原事務局長は、全九州電気工事技能競技大会の県予選で女性として初めて優勝し、通算3度優勝している。さらに、九州本選でも女性初の金賞を受賞。青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）を県内で女性として初受賞するなど、輝かしい実績を持つ。

講話では、会社が求める人材として、きちんと挨拶ができ、ミスや間違いを隠さない、感謝の気持ちを忘れないことなどが重要とアドバイスした。

同校2年生の山田由菜さんは「電気工事士が安全に電気を使える環境を整えることで、多くの人々が安心して暮らし、働けるようになっている。この仕事には責任がある分、やりがいも大きい。技術が目に見える形で社会に役立つのも魅力」と関心を示した。また、「将来の職業として電気工事士が一つの選択肢として心に残った。これからも勉強や技術の習得に力を入れていきたい」と語った。



柵原事務局長（右）に感謝の言葉を述べる山田さん



柵原事務局長（前列中央）と生徒ら

夢と文化を求め、時代と共に創意の旅

株式会社 沖創工
OKISOKOU, CO., LTD

代表取締役社長 伊 佐 一

本 社：那覇市長田2丁目5番4号
TEL (098) 832-1421
拠 点：大里事業所 東京支店 大阪営業所

特定建設業・土木・建築・管・電気・舗装・解体

(株)砂盛工業

代表取締役 砂 川 盛 栄
専務取締役 砂 川 勝
外社員一同

〒907-0014 石垣市新栄町71-3
TEL 82-1125/FAX 82-8731



本社 代表取締役社長 奥原 聡
〒901-0076 那覇市宇与儀三番地の八
FAX 〇九八 八三三 四七二
豊見城事業所 電話 〇九八 八三三 四七二
豊見城市字長堂一八番地二
電話 〇九八 八四〇 六八二
中 支 店 電話 〇九八 九三三 四〇三
千九〇四二五五 電話 〇九八 九三三 四〇三



株式会社奥原電設

営業
※送配電設備・屋内配線・弱電設備
※電気土木・設計・積算・工事
※沖縄電力・配電線工事

積算方法や入札要件緩和など解説

県土建部の灯火工事に関する説明会



積算方法などの説明を受ける参加者ら

電管協は12月12日、那覇市の電管協会館で県土建建築部空港課が発注する灯火工事に係る積算等の説明会を開催し、会員企業の担当者ら約30人が参加した。

県空港課による入札関連の説明会は今回が初めてで、協会会員らに向けて入札参加に必要な情報を提供する目的で行われた。説明会では同課の与那覇究主任と木村賢吾主任技師が積算方法や入札要件の緩和事項などについて説明。与那覇主任は「県管理空港の灯火工事は離島での施工となるため、作業員の派遣にかかる手間や費用が課題となっている。さらに、空港施設の性質上、主に夜間作業が求められるなど特殊な施工条件となることから、入札への参加業者が少なく、不調や不落が頻発している」と指摘。今回の説明会を通じて、積算方法や工事内容に

対する理解を深め、入札への積極的な参加を促した。

説明会では、実際に適用している国の積算基準を使用し、具体的な積算方法を実演しながら解説。また灯器の製作に長期間を要することから、現場着手までの期間において技術者の専任要件を緩和している点についても説明した。

さらに、今年度から変更された入札要件について、従来の灯火工事の施工実績の条件を「国、県、市町村が発注した電気工事」に変更したほか、設計金額が1億円以上の工事について「JV発注」から「JVまたは単体発注」に変更するなど、入札条件の見直しを行ったとした。

県では、管理空港のうち灯火設備が設置されている11空港において、2030年度までに全灯火のLED化を目指して取り組みを進めている。



県空港課の与那覇主任（左）と木村主任技師

電気設備・衛生設備・空調設備・土木工事

株式会社 南西工業

代表取締役 仲村公雄

沖縄県石垣市字真栄里一四五番地七
TEL(0980) 821-2716
FAX(0980) 821-6469

沖縄県知事(特-4)第8151号

昭電工業

一般社団法人 沖縄県電気管工事事業協会 会員

代表取締役 砂川 一晃
Kazuki Sunagawa

本社 〒907-0023
沖縄県石垣市字石垣1733-15
TEL (0980) 82-7697
FAX (0980) 83-8908
e-mail: syoden1k@peach.ocn.ne.jp

那覇出張所 〒900-0005
沖縄県那覇市天久2-5-12
Grateful天久502号室
携帯 090-4995-3940

空調・給排水・電気工事

お客様から信頼され選ばれる企業を目指す

株式会社 沖設備

代表取締役 山城 邦夫

本社 那覇市壺川二丁目11番地11
TEL: 098-835-9893 FAX: 098-835-0546
浦添事業所 浦添市牧港四丁目6番14
TEL: 098-871-0979 FAX: 098-871-0987
フリーダイヤル 0120-17-0979

労災防止対策の徹底呼びかけ

開邦高校・中学校現場をパトロール



安全対策を確認した

電管協は12月20日、南風原町の開邦高校・中学校校舎改築工事（第2期）の現場で安全パトロールを実施。電気と機械工事の安全対策を確認して、労働災害防止対策の徹底を呼びかけた。

協会の安全対策委員長を務める新垣光博副会長は「現場での気づきを記録するヒヤリハット活動を通じて、大きな災害の防止につながる。また、作業員とのコミュニケーションを深め、健康管理にも積極的に取り組んでほしい」と呼び掛けた。

パトロールは現場事務所での書類確認から始まり、その後、現場に移動して安全対策の状況を確認した。電気工事を担当する南部電工(株)・日進電気土木(株)・大協電気工事(株)JVの仲村健次主任技術者（日進電気土木）は、VRにより実際に発生した死亡事故を疑似体験できる「LookCa（ルッカ）」を活用し、安全意識の高揚に努めていると取り組みを紹介した。

また、機械工事を担う(株)和高建設工業・(株)オカノ・技研工業(株)JVの宮城祐哉現場代理人（和高建設工業）は「建築工事は4工区に分かれているため、作業が円滑に進むよう日頃からコミュニケーションを重視している。現場内で異常を発見した場合、担当業種にかかわらず声を掛け合い、現場全体で安全な管理体制を維持するよう努めている」と話した。

パトロール後の講評では、新垣安全対策委員長が「AED（自動体外式除細動器）や女性専用トイレの設置、週休2日の確保など、良い取り組みを行っている」と評価し、「冬場でも熱中症のリスクがあるため、引き続き対策に取り組んでほしい」と呼びかけた。親泊政夫副会長は「VRの活用など独自の取り組みが素晴らしい。現場全体がよく管理されている」と評価。改善点としては「ケーブルが通路の中央を通っており、転倒の恐れがある」と指摘した。

パトロールには、新垣副会長、親泊副会長、金城正司副会長、福田郁絵理事、伊佐一理事、吉濱功佑理事が参加した。



現場事務所書類を確認した



パトロールの参加者ら

ネット・電源がなくても大丈夫！
【どこでもカメラ】
 現場管理・防犯対策

スマホアプリでどこでも見れる
 カメラ操作・双方向通話・録画確認

月額3,980円（税別）（税込4,178円）

別途初期設定費用¥40,000（税別）（税込44,000円）
（取付工事、SIM開通費用、アプリ初期設定、カメラ初期設定、操作説明）

“幸せ電気”のある暮らし ～ 幸せづくりのお手伝い

株式会社 宜野湾電設
 〒901-2205 宜野湾市赤道2-20-2
 ☎ 098-892-4303

確かな技術で信頼の電気トリックワーク

KEC 金城電気工事(株)

代表取締役社長 吉濱 功佑

〒900-0002
 那覇市曙2丁目23番23号

TEL (098)867-7311
 FAX (098)867-7323

QRコード

おきなわSDGsパートナー
 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ISO9001・ISO14001 認証取得

不二宮工業 株式会社

代表取締役 宮城 剛

<http://fujimiya-k.co.jp>
 E-mail:f-k@fujimiya-k.co.jp

本社 〒901-2203
 沖縄県宜野湾市野嵩二丁目2番7号
 電話(098)893-0446 FAX(098)935-5771

事業本部及び工場 〒901-2313
 沖縄県北中城村字熱田 1985 番地
 電話(098)935-5755(代) FAX(098)935-5771

年末年始の安全対策徹底呼びかけ

第42回安全衛生大会を開催



指差呼称で労災防止を誓った

電管協は12月18日、那覇市的那覇地域職業訓練センターで第42回安全衛生大会を開催した。会員企業50社から60人が参加し、指差呼称などで安全衛生意識の向上を図った。

仲田一郎会長は「日頃より労働災害防止に尽力いただき感謝している。大会を契機に、さらなる労働安全衛生の充実と労働災害ゼロへの取り組みを深めていただければ」と労災防止に向けた取り組み強化を呼び掛けた。

講話では、沖縄労働局労働基準部健康安全課副主任の玉那覇勝地方産業安全専門官が登壇。2024年10月末時点で7件の死亡災害が発生し、そのうち建設業従事者が4人、さらに建設現場の警備業務従事者が交通事故で2人亡くなったと紹介。安全衛生対策の徹底を呼び掛けた。また、25年4月から施行される労働安全衛生法の省令改正についても言及。現場内の危険箇所で作業する一人親方や警備員などにも立入禁止な

どの保護措置が義務付けられるほか、一人親方や下請業者に対して保護具の使用について周知義務が課されるとした。

続いて、建設労働災害防止協会沖縄県支部の並里智浩専務理事が基調講演を行い、熱中症対策、墜落制止用器具（フルハーネス型安全帯）の装着方法やフックの取付方法、脚立・はしごの正しい使い方など、現場で実践できる具体的な安全衛生対策を詳しく解説した。並里専務理事は「ルール（法律）だけを守っても労働災害は防げない。法令を超える気づき、危険の発見、危険の除去が働く仲間の健康と命を守る」と述べ、労災ゼロの職場づくりを呼び掛けた。

指差呼称では、(株)南部電工の平良勇季氏の発声に合わせて、参加者全員で中央災害防止協会が主唱する年末年始労働災害防止運動の標語「今年もやります！基本作業の徹底 年末年始も無災害」を唱和し、安全衛生活動への意識を新たにした。



玉那覇地方産業安全専門官（左）と並里専務理事

40th ANNIVERSARY 防災シェルター正規代理店

ecovin 代理店

大成設備工業株式会社

代表取締役 狩俣 吉信

お問い合わせは
こちらから

会社HP

本 社 那覇市首里石嶺町三丁目三番地の三
電話（〇九八）八八六―二二五六代

代表取締役 高江洲 昌太郎

照屋電気工事株式会社
電気・通信・消防設備施工

建設技術で地域社会に貢献

株式会社 **テクノ工業**

代表取締役 新垣 敏哉

TEL 098-938-0262
FAX 098-938-0166

QRコード

地域福祉のために活用を 青年部会が県社協に寄付



湧川会長（右から2人目）に目録
を手渡す仲間部会長（同3人目）

電管協青年部会（仲間幹部会長）は10月22日、那覇市の沖縄県社会福祉協議会（湧川昌秀会長）を訪ね、9月20日に開催したチャリティーゴルフ大会の収益金

12万8,000円を寄付した。

仲間部会長は「地域福祉のため、協議会活動に役立ててほしい。今後も寄付活動を継続する」と述べ、湧川会長に目録を手渡した。

湧川会長は「地域でのつながり・支え合いの輪を広げる『サンクス運動』を展開しており、貴重

な御浄財は社会福祉活動の推進のために活用する」と謝辞を述べ、「社会福祉の充実は経済発展があつてこそ実現できる。電気・管工事業の健全な発展に注力してほしい」と話した。

同席した同協議会の高良正樹事務局長は、寄付金は講演会やパンフレット作成などの啓発広報活動、災害時の人材派遣などに活用するとした。



チャリティーゴルフ大会の参加者ら

実習を通してスキル向上を目指す 3D-CAD講習会を開催

電管協は11月20日、那覇市の電管協会館で3D-CAD講習会を開催した。講習は「電気設備編」と「空調・衛生設備編」の2部構成で行われ、講師に(株)ダイテック九州事業所の山下淳所長を招き、同社が提供する3D-CADソフト「CADWell Tfas 13」の機能や使い方を解説した。


講習会は、同ソフトを導入している協会会員企業の社員を対象に実施。特に、使用経験の浅い社員を対象に内容が組まれた。参加者たちは、山下所長の説明に熱心に耳を傾けながら、実際の作業を通じてスキル向上を目指した。

山下所長は、ソフトの特徴について「他のCADソフトで作成された建築データを読み込み、それを基に設備図面を作成できる。また、平面図を3Dに展開することができ、視認性が高まり、現場での理解が深まる」と説明した。



講師の山下所長（右）と参加者ら

人に優しく調和のとれた
社会システムを創る

 **光電気工事株式会社**


代表取締役会長 金城 稔
代表取締役社長 金城 正司

本社 沖縄県那覇市字大道78番の7
支店 沖縄県宜野湾市字我如古408-1
TEL (098) 898-4111 (代)
FAX (098) 897-1299


ISO9001:2015 認証取得
ISO14001:2015 認証取得

本社 沖縄県那覇市首里石嶺町三丁目八番地一
電話 (098) 886-1632
FAX (098) 886-1632
支店 沖縄県那覇市首里石嶺町三丁目八番地一
電話 (098) 886-1632
FAX (098) 886-1632
支店 沖縄県那覇市首里石嶺町三丁目八番地一
電話 (098) 886-1632
FAX (098) 886-1632

代表取締役 天願 智一

 **沖縄水質改良株式会社**

空調・衛生・上下水・浄化槽設備工事


maeda
electric construction

代表取締役 真栄田 士郎

〒900-0025 沖縄県那覇市壺川1丁目16-11
TEL : 098-853-9091

熊本地震の教訓学び、防災意識向上図る 青年部会が県外視察研修

電管協青年部会（仲間幹部会長）は11月14日から16日にかけて、県外視察研修を実施した。研修では、2016年に発生した熊本地震の教訓を学び、防災意識の向上を目的に、熊本県南阿蘇村の「熊本地震震災ミュージアムK I O K U」を訪れた。

同ミュージアムは、熊本地震の記憶や経験、得られた教訓を確実に後世に伝える回廊型のフィールドミュージアム「熊本地震 記憶の廻廊」の中核拠点施設として、被災地の復興と同時に建設が進められた。館内では、熊本地震の発生から復興までの過程が、写真や映像、被災者の証言を通じて分かりやす

く紹介されている。また、地震のメカニズムや防災に関する情報も詳しく解説されており、訪れる人々に防災の大切さを伝えている。施設の設計は建築家の隈研吾氏が手掛けており、自然素材を多用した温かみのあるデザインが特徴的で、訪問者に落ち着いた雰囲気と深い印象を与える空間となっている。

さらに、今回の視察研修では親睦ゴルフや懇親会も行われ、部会員同士の情報交換や交流を深める場が設けられた。視察を通じて、災害対応や防災意識の重要性を再認識するとともに、部会員の結束を一層強める有意義な研修となった。



熊本地震の教訓を学んだ



隈氏が設計を手掛けたKIOKUの外観



視察研修の参加者ら

猛暑の中「ゆいま〜る献血」

会員ら108人が協力

電管協は7月29日、那覇市のパシフィックホテル沖縄の駐車場で「ゆいま〜る献血」を実施した。社会貢献活動の一環で毎年実施しているもので、今回で18回目。例年を上回る猛暑が続く中での実施となり、参加者の健康と安全に十分配慮して冷たい飲み物などが提供された。会員企業の社員や地域住民など128人が受け付けを行い、そのうち108人が献血に協力した。

電管協の知念徹総務部長は「本日は例年にないはどの猛暑にもかかわらず、多数の会員・賛助会員に

献血のご協力をいただいた」と謝辞を述べ、「献血によって救われる命も少なくないので、今後も社会貢献活動として継続していきたい」と今後の取り組みに意欲を示した。



多くの会員らが献血に協力した

※※ でんき・元気で
明るい未来を創造 ※※



山 川 電 気

《本社》〒902-0078
沖縄県那覇市識名2-15-15 (101号)
TEL: 098-987-1420
FAX: 098-987-1418

《支店》〒901-0203
沖縄県豊見城市字長堂350-1
TEL: 098-856-1278
FAX: 098-856-1200



〒904-2165

F 電 沖 縄 県 沖 縄 市 宮 里 三 丁 目 八 番 三 七 号
A 話 話
X 〇 九 八 一 九 三 七 一 四 四 五
〇 九 八 一 九 三 七 一 四 七 七

社 代 表 取 締 役 長 柴 引 健



東 洋 電 気 工 事 株 式 会 社



比 嘉 工 業 株 式 会 社

代 表 取 締 役 会 長 比 嘉 広 明
代 表 取 締 役 社 長 新 里 孝 夫

事 業 本 部 沖 縄 県 西 原 町 字 小 那 覇 九 〇 三 番 地
〒 9 0 3 - 0 1 0 3
電 話 (〇 九 八) 九 四 五 一 四 六 二 〇 (代)
F A X (〇 九 八) 九 四 六 一 二 八 三 五
URL <http://www.higa-kogyo.jp>

賛 助 会 員 を 活 用 し よ う

企業名・問い合わせ先	工種	用 途	製 品 名
長嶺電機(株) TEL:098-878-2121 E-mail:ndf_ei@hotmail.com	電	受配電設備	配電盤・制御盤・分電盤
	その他	金属加工	板金加工・各種収納ボックス
	その他	金属加工	アクリル板・パーテーション
沖縄環境企画(株) TEL:098-831-9939 E-mail:o_kikaku@dl.dion.ne.jp	その他	ろ過装置	標準型自動ろ過装置FT-0A0/0E0
	その他	軟水装置	全自動軟水装置SAA-K/SAB-K
	その他	微酸性電解水生成装置	ピュアスター(次亜塩素酸を含む微酸性電解水生成装置)
沖縄三菱電機販売(株) TEL:098-898-1111 E-mail:miyagi-akira@oki.mellifr.co.jp	管	空調機器	ルームエアコン霧ヶ峰・パッケージエアコンミスタースリム
	管	全熱交換器・換気扇	ロスナイ・ヘルスエアー・DC換気扇
	電	照明器具	LED照明MILIE(My・GTシリーズ他)
	電	住設品・家電品	エコキュート・IHクッキングヒーター・その他
沖縄ガス(株) TEL:098-863-7730(代表) TEL:098-863-7750(ショールーム)	その他	でんきもガスも！ 沖縄ガス	天然ガス・LPガス・バイオガス・水溶性天然ガス・沖縄ガスのでんき
(株)ゆにてつくす TEL:098-944-6608 E-mail:info@oki-unitex.jp	その他	防錆・防触処理 〔沖縄のサビと闘い、 環境を守る企業〕	防錆塗装 〔空調室外機・冷凍室外機・バルクタンク 給湯器・車輛・電子防錆システム・ その他室外設置型の機器類〕
(株)大成 TEL:098-946-8383 FAX:098-946-8385	電	受変電設備	分電盤・配電盤・制御盤
	その他	金属加工	板金加工によるは筐体制作
(株)沖縄多久パイププレファブ 加工センター TEL:098-921-0571 FAX:098-921-0573 E-mail:otp@okinawa-tak.co.jp	管	給水・給湯・消火 配管	タスカルジョイント(SUS304製)
	管	上水道・農水等	水道用塗装管(JWWA K135対応)
	管	上水道・農水等	水道用耐震機能タスカルジョイント
	管	機械設備・上下水 等全般	OTPプレファブ加工管(県産品)
(株)金城電気商会 TEL:098-867-3166 FAX:098-867-3928	その他	電気資材卸売業	電設資材・照明器具・空調機器販売

お 知 ら せ

賛助会員の皆様の事業をより広く知っていただき、活用していただくことを目的に「賛助会員を活用しよう」のPRページを設けました。

製品等の紹介、自社PRなどに活用いただけますので、詳しくは協会までお問い合わせください。



◆第3回理事会次第◆

日時: 令和6年10月8日(火) 14:00～15:00

場所: 電管協会館3F ホール

議 題

〔審議事項〕

1. 協会加入の件
2. 第6回おきなわ建設フェスタの開催について
3. 工業高校生現場見学会の実施について

〔協議事項〕

1. 県有施設LED化事業について

〔報告・その他事項〕

1. 沖縄県建設業審議会について
2. 清掃ボランティアについて(経審加点对象事業)
3. 沖縄総合事務局との意見交換会について
4. 工業高校担当教諭との意見交換会について
5. 沖縄総合事務局(営繕事業)入札契約制度説明会について
6. 電設協9月理事会・会員大会について
7. 日空衛第10回・第11回理事会について
8. 日空衛九州沖縄支部第64回通常総会について
9. 国土交通大臣表彰について
10. ゆいま～る献血について
11. 委員会報告について
 - (1) 第2回安全対策委員会
 - (2) 70周年記念事業第2回実行委員会
12. 上半期正味財産増減計算書について
13. 職務執行状況報告について
14. 監事講評

空調設備・衛生設備・電気設備
消火設備・医療ガス設備



代表取締役社長 與儀 盛輝

〒900-0003 那覇市安謝1丁目23番8号
TEL: 098-868-4152 FAX: 098-863-1522
<http://okinawa-okano.co.jp>

空調・衛生・水道施設
機械器具設置工事業



三栄工業株式会社

代表取締役 福田 郁絵

本 社 〒 9 0 0 - 0 0 0 1
沖縄県那覇市港町3丁目2番8号
TEL (098) 868-0191
FAX (098) 862-4314

〒900-0001 那覇市港町二丁目十四番七号

TEL (098) 867-3387
FAX (098) 867-3833



株式会社 永山組

空調・給排水・衛生・土木・消火

代表取締役 阪井 邦雄

◆第4回理事会次第◆

日時:令和6年12月10日(火) 14:00~15:00

場所:電管協会館3F ホール

議 題

〔報告・その他事項〕

1. 第2回沖縄県建設業審議会について
2. 沖縄県との意見交換会について
3. 沖縄防衛局「令和7年度概算要求に関する説明会」について
4. 第6回おきなわ建設フェスタについて
5. 委員会報告について
 - (1)第2回運営・広報委員会
 - (2)70周年記念事業第3回実行委員会
 - (3)第1回担い手確保・育成委員会
6. 高校生現場見学会について
7. 職業講話(八重山商工高校)について
8. (一社)日本空調衛生工事業協会全国会議・第4回理事会について
9. 県総合運動公園清掃ボランティア活動について
10. けんぞか茂範氏特別講演並びに交流会について
11. 新年賀詞交歓会の開催について
12. 職務執行状況報告について
13. 監事講評



有限 田端設備工業
会社

会 長 田 端 盛 喜

代表取締役 田 端 智

本 社

〒901-1302

沖縄県与那原町字上与那原408-2

TEL(098)946-3691(代) FAX(098)945-4339

宜野座支店

〒904-1302

沖縄県宜野座村字宜野座709番地



〒907-0003

F T 沖
A X 縄
X (県
○ 石
○ 垣
○ 市
○ 字
○ 平
○ 得
○ 九
○ 〇
○ 一
○ 七
E-mail:sinsei@voice.ocn.ne.jp

代表取締役

生 盛 栄 治

特定建設業
株式会社 新生

機械設備・電気設備・土木一般
(一社)沖縄県電気管工事業協会員



株式 日建興業
会社

● 電気工事 ● 管工事
● 水道施設 ● 土木工事

一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会員

代表取締役 後上里 悟

〒907-0024

沖縄県石垣市字新川2460-16

TEL.0980-82-9562

FAX.0980-83-2959

令和6年度

各 委 員 会 活 動 状 況

一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会

令和6年度 第2回安全対策委員会 報告

日時：令和6年7月30日（火） 12：00～

場所：電管協会館3Fホール

【議題】

1. 安全パトロール現場選定について

令和6年度の安全パトロールについて、那覇・南部地区3現場と中・北部地区2現場の候補から選定することとした。検討の結果、那覇・南部地区は「開邦高校・中学校校舎改築工事」と、中・北部地区は「水釜第二町営住宅建設工事」に決定した。

成績優秀者に送る安全功労者表彰基準について、過去5年以内に受賞した代理人を対象外としているが、今後は技術者不足が懸念されるため、基準の見直しを検討することとした。

2. チェックリストの確認について

昨年度に安全パトロールのチェックリストを改定したことから、今後使用するにあたり、改善すべき点がないか確認をした。内容について指摘はなかったが、評価に×があった場合、安全意識を向上させる目的で後日是正の報告を求めることとした。

（出席者）新垣光博、吉濱功佑、伊佐一、柴引健、宜保勝、知念徹 （欠席者）石原清正、渡真利剛

令和6年度 第2回運営・広報委員会 報告

日時：令和6年10月10日（木） 12：00～

場所：電管協会館3Fホール

【議題】

1. 電管協創立70周年記念誌の発行について

来年で電管協は創立70周年を迎えることから、記念誌の発行を計画することとし、内容について検討を行った。企画構成については、概ね60周年記念誌を踏襲し、企画特集として記念行事の写真特集と歴代会長対談を企画することとした。また、記念誌作成にかかるスケジュールについて確認をした。発行にかかる費用については、予算の目安である200万円で収まるよう今後検討していくこととした。

2. 会報第84号の発行について

表紙の写真については、5案の中から「宜野湾警察署」を選定した。なお、警察署という特殊性から掲載許可が得られなかった場合は、第二案として豊崎中学校を候補とした。

「視点」については、4案の中から「建築物省エネ法の改正について」というテーマで（一社）沖縄県設備設計事務所協会 天願清政会長に依頼することとした。

「新春会長対談」については、沖縄県土木建築部 前川智宏部長に時間外労働上限規制による設備業界へのしわ寄せ等をテーマとして依頼することとした。

3. 会報広告について

会報の裏表紙カラー広告について、前号で複数社依頼があったことから、広告のスペースを拡大し、裏表紙の内側にも同様のカラー広告を受け付けられるよう検討し、委員の了承を得た。

(出席者) 金城正司、福田郁絵、玉城信六、島袋清人、宜保勝、知念徹
(オブザーバー) 宜保直也 (沖縄建設新聞)、浜川俊 (沖縄建設新聞)

令和6年度 第1回担い手確保・育成委員会 報告

日時：令和6年12月5日（木） 12：00～

場所：電管協会館3Fホール

【議題】

1. 雇用改善事業推進委員会について

沖縄労働局助成金センターへ人材確保支援助成金の申請をするにあたり、「事業推進委員会」の設置が義務付けられていることから、担い手確保・育成委員会の委員で構成し、申請することを説明した。また助成金の内容や条件、令和5年度には合計1,663,600円の助成金支給があった旨報告を行った。

2. 職業講話について

去った10月24日、石垣の八重山商工高校電気科1・2年生の生徒を対象に職業講話を実施した旨説明。那覇電気工事業協同組合の棚原事務局長に講師を依頼し、電工として従事した自身の経験談をもとに、社会人としての心構えを講話いただいた旨を報告した。電管協からは親泊副会長、新垣副会長、金城副会長、山川監事と事務局が出張した。

3. 高校生現場見学会について

12月6日と11日の2日間、美里工業高校の生徒を対象とした現場見学会を開催すると説明。現場は首里城正殿建設工事で、沖縄総合事務局にご協力をいただき今回の見学会が実現したと報告した。

その他、南部工業高校の現場見学会も年明けに予定しており、美里工業高校と同じく首里城正殿の見学ができないか沖総局へ打診する旨報告した。

(出席者) 田端智、松島寛行、宜保勝、知念徹 (欠席者) 奥原聡、砂川一晃

新入会員紹介



株式会社 大輝

(豊見城市)

《正会員》

代表取締役社長

平良 正

■略 歴

平成 4 年 3 月 国際電子ビジネス専門学校 卒業

平成 4 年 5 月 (株) 沖縄ポンプ工業 入社

平成 6 年 6 月 (株) 大輝 入社

令和 6 年 9 月 (株) 大輝 代表取締役就任

■出 身 地

沖縄県那覇市

■座右の銘

初志貫徹

■趣 味

釣り

電管グリーン入会のご案内

55年以上の歴史ある電管協のゴルフコンペに入会しませんか。

ゴルフを楽しみながら会員相互の親睦を深め、組織の充実強化、設備業界の発展を目指します。会社単位での入会となりますので、コンペはどなたでも参加できます。初心者から上級者まで、年齢は問いません。

詳しくは、電管協事務局まで

電話：098（868）－8400

E-mail：info@denkankyo.or.jp

NICE SHOT!



◇大会要項（抜粋）

1. 開催日時：原則毎月第3木曜日
2. 開催場所：琉球ゴルフ倶楽部
3. 会費：年間 25,000 円
4. 競技方法：18H ストロークプレー
ハンディキャップ方式
5. 表彰式：プレー終了後、
同ゴルフ場にて行う。



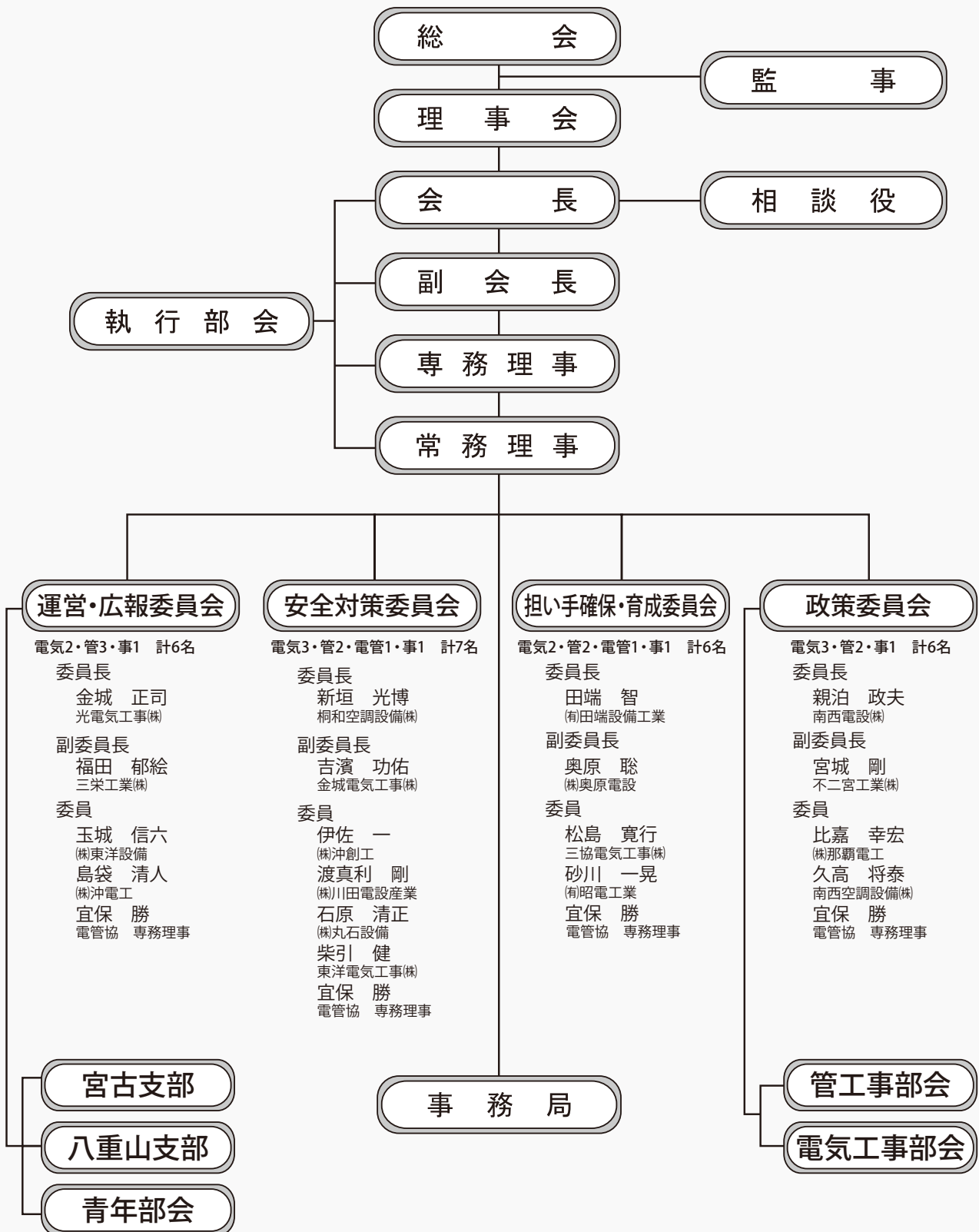
55周年記念大会の参加者ら

電管協グリーンコンペ結果報告(令和6年7月～12月)

1968年(昭和43年)スタート

第667回 開催日 7月18日(木) 場 所 琉球ゴルフ倶楽部 成 績 優 勝 照屋保 準優勝 真保栄崇 第3位 金城政義 ベストグロス 前代孝夫 ドラコン賞 前代孝夫 山田毅 ニアピン賞 岸本吏 前代孝夫 山田毅	第668回 開催日 8月15日(木) 場 所 琉球ゴルフ倶楽部 成 績 優 勝 前代孝夫 準優勝 石川俊三 第3位 奥原聡 ベストグロス 新垣俊哉 ドラコン賞 石川俊三 島袋清人 ニアピン賞 前代孝夫 岸本吏 奥原聡 高江洲昌太郎
第669回 開催日 9月19日(木) 場 所 琉球ゴルフ倶楽部 成 績 優 勝 照屋保 準優勝 金城正司 第3位 新垣昌彦 ベストグロス 新垣俊哉 ドラコン賞 浦崎直哉 豊島博之 ニアピン賞 照屋保 新垣昌彦 新垣敏哉 浦崎直哉	第670回 開催日 10月17日(木) 場 所 琉球ゴルフ倶楽部 成 績 優 勝 松島寛行 準優勝 島袋清人 第3位 大城和昌 ベストグロス 前代孝夫 ドラコン賞 照屋保 野原武 ニアピン賞 大城和昌 野原武
第671回 開催日 11月21日(木) 場 所 琉球ゴルフ倶楽部 成 績 優 勝 宮里直和 準優勝 野原武 第3位 比嘉幸宏 ベストグロス 金城正司 ドラコン賞 照屋保 照屋保 ニアピン賞 新城永一郎 呉屋宏弥 豊島博之	第672回 開催日 12月19日(木) 場 所 琉球ゴルフ倶楽部 成 績 優 勝 石川俊三 準優勝 吉濱功佑 第3位 前代孝夫 ベストグロス 照屋保 ドラコン賞 呉屋宏弥 照屋保 ニアピン賞 石川俊三 松島寛行 川満常治 田場厚生

運 営 機 構 図



一般社団法人 沖縄県電気管工事業協会

役員名簿

(令和5年・6年度)

役 職	氏 名	会 社 名	役 職
会 長	仲 田 一 郎	ヤ シ マ 工 業 (株)	社 長
副 会 長	親 泊 政 夫	南 西 電 設 (株)	社 長
〃	田 端 智	(有) 田 端 設 備 工 業	社 長
〃	新 垣 光 博	桐 和 空 調 設 備 (株)	社 長
〃	金 城 正 司	光 電 気 工 事 (株)	社 長
理 事	松 島 寛 行	三 協 電 気 工 事 (株)	会 長
〃	玉 城 信 六	(株) 東 洋 設 備	会 長
〃	渡 真 利 剛	(株) 川 田 電 設 産 業	社 長
〃	伊 佐 一	(株) 沖 創 工	社 長
〃	石 原 清 正	(株) 丸 石 設 備	社 長
〃	吉 濱 功 佑	金 城 電 気 工 事 (株)	社 長
〃	奥 原 聡	(株) 奥 原 電 設	社 長
〃	宮 城 剛	不 二 宮 工 業 (株)	社 長
〃	砂 川 一 晃	(有) 昭 電 工 業	社 長
〃	比 嘉 幸 宏	(株) 那 覇 電 工	社 長
〃	福 田 郁 絵	三 栄 工 業 (株)	社 長
〃	久 高 将 泰	南 西 空 調 設 備 (株)	社 長
〃	柴 引 健	東 洋 電 気 工 事 (株)	社 長
〃	島 袋 清 人	(株) 沖 電 工	社 長
専 務 理 事	宜 保 勝	協 会 事 務 局	専 務 理 事

監 事	比 嘉 広 明	比 嘉 工 業 (株)	会 長
〃	山 川 光 雄	(株) 山 川 電 気	社 長

会員名簿

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX 番号	⑧創業年月日	⑨I S O (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	
〔南部地区〕	株式会社 アサヒプラント	中 本 宏	〒901-0156	那覇市田原4丁目8番地2	
		(098)858-0388	(098)889-0079	昭和61年1月21日	9001:2000 (H15年10月11日)
		soumu@asahiplant.jp			
	株式会社 安謝橋電機	平 良 博	〒901-2101	浦添市西原2-1-3	
		(098)877-7802	(098)877-7727	昭和41年4月1日	9001:2000 (H15年7月16日)
		info@ajyabashidenki.jp			
	株式会社 イチゴ	國 場 幸 貞	〒901-2101	浦添市西原5丁目1番9号	
		(098)875-0801	(098)875-0810	昭和54年8月17日	
		ichigo15@ii-okinawa.ne.jp			
	株式会社 浦城産業	又 吉 正	〒901-2113	浦添市大平2-9-1	
		(098)878-7271	(098)878-8171	昭和59年11月2日	9001:2000 (H16年9月21日)
		urashiro@nirai.ne.jp			
	株式会社 大城組	仲 西 聰	〒901-2122	浦添市勢理客4-18-5	
		(098)877-3625	(098)876-3403	大正9年7月1日	9001:2000 (H13年3月15日)
		k-takayama@oshirogumi.co.jp			
	株式会社 オカノ	與 儀 盛 輝	〒900-0003	那覇市安謝1丁目23番8号	
		(098)867-1633	(098)868-0816	昭和58年10月8日	9001:2000 (H13年6月11日)
		setsubi-kouji@okinawa-okano.co.jp		http://okinawa-okano.co.jp	
	株式会社 沖永開発	末 広 良 憲	〒901-2131	浦添市牧港5-6-3 南海ビル3A-1号	
		(098)877-6399	(098)878-6674	昭和45年3月11日	9001:2000 (H13年3月27日)
		shiroma-k@okieidev.co.jp		http://www.okieidev.co.jp/	14001:2004 (H20年11月10日)
	株式会社 オキジム	新 里 哲 郎	〒901-2134	浦添市港川458	
		(098)878-7878	(098)870-1587	昭和30年	
		info@okijimu.co.jp		https://www.okijimu.co.jp/	
	株式会社 沖設備	山 城 邦 夫	〒900-0025	那覇市壺川2-11-11 沖電工ビル	
		(098)835-9893	(098)835-0546	平成7年9月18日	
				http://www.okisetsubi.co.jp/	
	株式会社 沖創工	伊 佐 一	〒902-0077	那覇市長田2-5-4	
		(098)852-7070	(098)852-7072	昭和62年12月16日	9001:2000 (H15年2月19日)
		okisoukou@okisokou.co.jp		http://www.okisokou.co.jp/	
	株式会社 沖電工	島 袋 清 人	〒900-0025	那覇市壺川2-11-11	
		(098)835-9888	(098)835-3627	昭和43年6月12日	9001:2000 (H14年3月20日)
		soumuka@okidenko.co.jp		http://www.okidenko.co.jp/	
	沖電水工事 株式会社	當 山 雅 治	〒900-0016	那覇市前島2-1-10	
		(098)867-6311	(098)868-3282	昭和31年4月1日	9001:2000 (H15年7月14日)
		soumu.2@okidensui.co.jp		https://okidensui.co.jp	14001:2015 (H26年4月22日)
	株式会社 沖縄工業	糸 数 啓 子	〒902-0072	那覇市真地197-7	
		(098)853-6507	(098)853-8500	昭和57年8月31日	9001:2000 (H15年8月15日)
		oki-5134@tulip.ocn.ne.jp			
	株式会社 沖縄工設	大 嶺 健 一 郎	〒901-2111	浦添市字経塚633	
		(098)877-0504	(098)874-4626	昭和56年4月10日	9001:2000 (H16年3月9日)
		okikou-5@hyper.ocn.ne.jp			
	株式会社 沖縄計装工事	安 里 康 伸	〒901-2101	浦添市西原5丁目45番1号	
		(098)874-5620	(098)874-5621	昭和59年8月25日	
		ksokoji@mocha.ocn.ne.jp			
	沖縄水質改良 株式会社	天 願 智 一	〒903-0804	那覇市首里石嶺町3-8-1	
		(098)886-6321	(098)886-6322	昭和48年6月	
				https://www.osk-kk.co.jp/	
	株式会社 沖縄ダイケン	山 盛 博 文	〒900-0006	那覇市おもろまち1-1-12	
		(098)-876-5910	(098)876-5911	昭和48年1月10日	
				http://www.oki-daiken.co.jp/	
	株式会社 沖縄特電	野 原 武	〒900-0015	那覇市久茂地3-21-1	
		(098)862-4235	(098)862-2604	昭和48年4月4日	9001:2000 (H13年9月1日)
		mein-1@tokuden.jp			

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX 番号	⑧創業年月日	⑨I S O （取得年月日）
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔南部地区〕	沖縄パナソニック特機 株式会社	玉 山 憲 是	〒900-0036	那覇市西2－15－1	
		(098)868-0131	(098)868-6783	昭和46年7月1日	
		uehara.hironobu@jp.panasonic.com			
	株式会社 奥原電設	奥 原 聡	〒902-0076	那覇市与儀380－8	
		(098)854-9676	(098)840-6969	昭和53年12月28日	9001:2000(H14年12月4日)
		okuden-e@crocus.ocn.ne.jp			
	技研工業 株式会社	國 仲 昌 典	〒900-0002	那覇市曙3-4-6	
		(098)861-2554	(098)861-2404	昭和59年9月6日	9001:2015(H17年11月26日) 14001:2015(H24年2月24日) 45001:2018(R2年11月26日)
		okinawa@gknkk.co.jp			
	久建工業 株式会社	久 米 清 博	〒901-0152	那覇市小禄2丁目6番地11	
		(098)857-2992	(098)857-2801	昭和61年10月1日	9001:2000(H15年2月19日)
		kyuken@kyuken-k.co.jp			
	株式会社 きらり電設	喜 納 政 之	〒900-0012	那覇市泊2丁目20番地1	
		(098)894-7244	(098)894-7010	平成13年5月18日	
		main@kirari-d.co.jp		http://www.kirari-d.co.jp/	
	金城電気工事 株式会社	吉 濱 功 佑	〒900-0002	那覇市曙2－23－23	
		(098)867-7311	(098)867-7323	昭和28年4月1日	9001:2015(H15年8月15日) 14001:2015(H25年5月2日)
		kec@kec-eng.com		http://www.kec-eng.com	
	有限会社 金星電設	渡 慶 次 和 美	〒902-0072	那覇市字真地45	
		(098)855-3129	(098)855-9628	昭和44年1月1日	
	興南施設管理 株式会社	屋 良 学	〒901-2131	浦添市牧港1－60－6	
		(098)877-7269	(098)878-6566	昭和52年5月25日	9001:2000(H14年5月15日)
		soumu@konan-sk.co.jp			
	國和設備工業 株式会社	高 里 盛 春	〒900-0015	那覇市久茂地3－21－1 國場ビル10階	
		(098)863-0100	(098)863-0394	昭和52年7月1日	9001:2000(H15年5月16日)
soumubu@kokuwa-s.co.jp		http://www.kokuwa-s.jp/			
三栄工業 株式会社	福 田 郁 絵	〒900-0001	那覇市港町3－2－8		
	(098)868-0191	(098)862-4314	昭和32年4月2日	9001:2000(H16年1月29日)	
	san-ei@san-ei-kogyo.com		http://www.san-ei-kogyo.com/		
三協電気工事 株式会社	松 島 寛 和	〒900-0005	那覇市字天久903		
	(098)868-8141	(098)868-2209	昭和27年4月8日	9001:2000(H14年8月26日)	
	gyoum@sankyoo.co.jp				
尚平工業 株式会社	平 良 明 子	〒901-0146	那覇市具志3－17－7		
	(098)857-8851	(098)858-1766	昭和46年4月10日	9001:2000(H15年8月13日)	
	shohei21@muse.ocn.ne.jp				
株式会社 新共電気工業	新 垣 勇 誠	〒902-0075	那覇市字国場1183－8		
	(098)855-5589	(098)889-4125	昭和40年5月1日		
	sinkyo@woody.ocn.ne.jp				
株式会社 ゼネラル電設	新 川 秀 盛	〒903-0802	那覇市首里大名町1－126－6		
	(098)887-3012	(098)885-7885	昭和43年12月12日		
	zeneraru@nirai.ne.jp				
株式会社 祖慶電設工業	平 良 愛 子	〒901-0152	那覇市小禄3丁目10番地3		
	(098)857-5724	(098)858-2437	昭和53年12月11日	9001:2000(H17年9月27日)	
	sokei.at@basil.ocn.ne.jp		https://www.sokei.okinawa/		
合資会社 第一設備	武 村 健	〒902-0076	那覇市与儀2－12－25		
	(098)832-9617	(098)832-5766	昭和41年5月15日		
	okuma-ds@m1.cosmos.ne.jp				
株式会社 大輝	平 良 正	〒901-0231	豊見城市我那覇445番地12		
	(098)856-6482	(098)856-6483	平成6年5月12日		
			https://taiki-oki.co.jp		
株式会社 太閤建設	浦 崎 家 三	〒900-0006	那覇市おもろまち4－20－16		
	(098)951-0885	(098)865-2585	昭和48年4月5日	9001:2000(H14年12月20日)	
	taiken@nirai.ne.jp		https://taikoukensetu.ti-da.net/		

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	
〔南部地区〕	大成設備工業 株式会社	狩 俣 吉 信	〒903-0804	那覇市首里石嶺町4-444-6	
		(098)871-4031	(098)871-4032	昭和59年7月2日	9001:2000 (H14年12月26日) 14001:2004 (H28年10月25日)
		soumu@taisei47.jp		http://taisei47.jp	
	大和電工 株式会社	宮 里 敏 彦	〒900-0031	那覇市若狭3丁目45番10号	
		(098)869-4048	(098)869-4041	昭和42年5月20日	
		daidenko@jassmin.ocn.ne.jp			
	有限会社 田端設備工業	田 端 智	〒901-1302	与那原町字上与那原408-2	
		(098)946-3691	(098)945-4339	昭和52年11月15日	
		tabata_s@r7.dion.ne.jp			
	照屋電気工事 株式会社	高江洲昌太郎	〒903-0804	那覇市首里石嶺町3-32-3	
		(098)886-2256	(098)884-3979	昭和47年4月6日	9001:2000 (H15年2月27日) 14001:2004 (H17年8月5日)
		teruyadenki@teruyadenkikouji.co.jp		http://www.teruya-denkikouji.jp/	
	株式会社 東部電気土木	神 谷 光 准	〒901-1302	与那原町字上与那原398	
		(098)945-2043	(098)945-1738	昭和43年12月1日	9001:2000 (H14年3月29日)
		honsya@tobudenki.co.jp			
	株式会社 東洋設備	仲 座 正	〒900-0005	那覇市天久1122	
		(098)868-6831	(098)861-5464	昭和43年9月18日	9001:2000 (H16年11月16日)
		eigyoutoyosetsu.co.jp		http://www.toyosetsu.co.jp/	
	桐和空調設備 株式会社	新 垣 光 博	〒900-0002	那覇市曙1-8-1	
		(098)861-1751	(098)867-0364	昭和28年3月10日	14001:2013 (H25年3月6日)
		mail@dowa-k.co.jp		http://www.dowa-k.co.jp/	
	株式会社 永山組	阪 井 邦 雄	〒900-0001	那覇市港町2-14-7	
		(098)867-3387	(098)867-3832	昭和23年2月12日	
	株式会社 那覇電工	比 嘉 幸 宏	〒900-0031	那覇市若狭3-15-1	
		(098)868-8674	(098)861-1961	昭和50年5月15日	9001:2000 (H14年10月21日)
		enahaden@nahadenkou.co.jp		http://www.nahadenkou.co.jp/	
	南光開発 株式会社	玉 城 功 佳	〒902-0075	那覇市国場1185-6	
		(098)855-7819	(098)855-7829	昭和63年5月26日	
		nanko@lime.ocn.ne.jp			
	南西空調設備 株式会社	久 高 将 泰	〒900-0004	那覇市銘苅1-10-12	
		(098)864-1125	(098)864-1126	昭和47年12月11日	9001:2000 (H15年10月29日)
		nansei@mco.ne.jp			
	南西電設 株式会社	親 泊 政 夫	〒901-2126	浦添市宮城6-21-5	
		(098)878-3576	(098)878-3847	昭和49年1月17日	9001:2000 (H15年7月14日)
		info@nanseidc.co.jp		http://www.nanseidc.co.jp/	
	南部電工 株式会社	石 川 俊 三	〒901-0305	糸満市西崎町5-6-20	
		(098)994-2607	(098)992-3026	昭和56年7月2日	9001:2000 (H14年3月28日)
		okinawa@nanbudenkou.co.jp		http://www.nanbudenko.co.jp/	
	株式会社 西原環境おきなわ	友 野 貴 康	〒900-0004	那覇市銘苅2丁目5番28号	
		(098)862-8522	(098)861-0698	平成19年4月2日	
	日進電気土木 株式会社	川 満 建 助	〒900-0002	那覇市曙1-6-15	
		(098)863-2784	(098)863-2723	昭和32年5月1日	
		ndk-k@ryucom.ne.jp			
	比嘉工業 株式会社	新 里 孝 夫	〒900-0015	那覇市久茂地2-24-7	
		(098)951-1534	(098)951-0723	昭和31年9月1日	
		info@higa-kogyo.jp		http://www.higa-kogyo.jp/	
	光通信工業 株式会社	島 袋 剛	〒901-2131	浦添市牧港5-4-10	
		(098)878-5111	(098)870-1092	昭和45年4月1日	
		info-soumu@hikari-t.co.jp		http://www.hikari-t.co.jp/	
	光電気工事 株式会社	金 城 正 司	〒901-2214	宜野湾市我如古408-1	
		(098)898-4111	(098)897-1299	昭和28年6月30日	9001:2000 (H15年10月17日)
		yakuinshitsu@hikari-dk.co.jp		http://www.hikari-dk.co.jp	

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	
〔南部地区〕	有限会社 日向工業	宜野座 清徳	〒903-0802	那覇市首里大名町1-346	
		(098)886-2830	(098)946-5420	昭和60年7月2日	
		hyuga@nirai.ne.jp		https://hyugakogyo.com/	
	マエダ電気工事 株式会社	真栄田 士郎	〒900-0025	那覇市壺川1-16-11	
		(098)853-9091	(098)853-9093	昭和38年09月01日	
		maeda1@denkiya-no1.co.jp		http://www.denkiya-no1.co.jp/	
	株式会社 丸石設備	石原 清正	〒901-2101	浦添市西原3-4-14	
		(098)878-2406	(098)876-3370	昭和49年1月17日	
		maruishi@vega.ocn.ne.jp			
	有限会社 三崎工業	知念 秀明	〒903-0802	那覇市首里大名1-161-1 (106)	
		(098)876-2056		昭和57年9月1日	
		misakikg@nirai.ne.jp		http://w1.nirai.ne.jp/misakikg/	
	株式会社 明光電気	仲村 彰	〒900-0025	那覇市壺川1-12-3	
		(098)833-3068	(098)833-1849	昭和37年3月	
		meikou-denki@nirai.ne.jp			
	ヤシマ工業 株式会社	仲田 一郎	〒900-0033	那覇市久米2-16-25	
		(098)863-2191	(098)863-2247	昭和36年5月10日	
		ysmoffice@yashima-kogyo.com		http://www.yashima-kogyo.com/	
	株式会社 山川電気	山川 光雄	〒902-0078	那覇市識名2-15-15 (101号)	
		(098)987-1420	(098)987-1418	昭和44年4月1日	
		y-soumu@yamadenki.co.jp		http://www.yamadenki.co.jp/	
	株式会社 琉球エンジニア	宇久村 栄	〒901-2127	浦添市屋富祖3-33-2	
		(098)877-2146	(098)877-2365	昭和42年4月1日	
	琉球通信工事 株式会社	武廣 保寿	〒902-0067	那覇市安里3-4-12	
		(098)867-4111	(098)867-4113	昭和44年6月4日	
		rtk-soumu@comsys.co.jp		https://www.ryutuko.co.jp/	
	琉穂建設工業 株式会社	由浅 太	〒902-0075	那覇市国場907番地	
		(098)834-2082	(098)870-1774	昭和54年11月1日	
		urasoe@ryusui-k.com		http://www.ryusui-k.com/	
	株式会社 和高建設工業	喜屋 武護	〒901-0156	那覇市田原4-5-2	
		(098)852-1733	(098)858-0902	昭和44年1月1日	
		wako_gr@yahoo.co.jp		http://www.wako-oki.com/	
〔中部地区〕	株式会社 東江電気工事	東江 清隆	〒904-0204	嘉手納町水釜6-5-18	
		(098)956-2298	(098)956-9588	昭和49年12月9日	
		info@agariendenkikouji.com		http://www.agariendenkikouji.com/	
	株式会社 アメニス空調	奥浜 真潤	〒904-2174	沖縄市与儀3丁目18-18	
		(098)933-8610	(098)933-8616	平成2年11月1日	
		amenis@cyber.ocn.ne.jp		http://amenis.rdy.jp/	
	有限会社 大謝名電工	山城 克己	〒901-2216	宜野湾市字佐真下40	
		(098)897-4806	(098)897-9630	昭和42年6月27日	
	株式会社 おきさん	富永 進	〒904-0202	嘉手納町字屋良1022	
		(098)956-2288	(098)956-8893	昭和28年7月28日	
		kouji@okisan.co.jp		https://www.okisan1953.jp/company.php	
	株式会社 沖縄エンジニア	仲本 賢一郎	〒901-2203	宜野湾市野嵩2丁目1番1号	
		(098)892-0100	(098)892-0800	平成5年10月7日	
		soumu02@oki-engineer.com		http://www.oki-engineer.com	
	株式会社 機電工業	新城 昌人	〒901-2223	宜野湾市大山7-3-19	
		(098)898-6866	(098)897-6821	昭和55年5月6日	
		kiden@h5.dion.ne.jp			
	株式会社 宜野湾電設	仲村 明	〒901-2205	宜野湾市赤道2-20-2	
		(098)892-4303	(098)892-4388	昭和46年10月	
		soumubu@ginowandansetsu.com		9001:2000 (H14年10月2日)	

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX 番号	⑧創業年月日	⑨I S O (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔中部地区〕	具志堅設備 株式会社	具志堅 清	〒904-2245	うるま市字赤道109番地1	
		(098)946-8620	(098)946-8621	昭和56年4月1日	
		gushiken-somu-g@isp.okinawa.jp			
	有限会社 クラウン工業	荒海 宣雄	〒904-2165	沖縄市宮里2丁目22-22	
		(098)939-4343	(098)939-4345	昭和50年7月23日	9001:2000(H15年12月26日)
		kuraun@ii-okinawa.ne.jp		http://www.ii-okinawa.ne.jp/people/kuraun/index.html	
	三協電設 株式会社	大城 政明	〒904-2174	沖縄市字与儀1210	
		(098)932-2315	(098)932-7711	昭和52年7月27日	
		sankyo-d@arion.ocn.ne.jp			
	三建設備 株式会社	宮里 真由美	〒904-0035	沖縄市南桃原4-33-3	
		(098)932-3629	(098)932-6514	昭和47年4月20日	9001:2000(H15年12月24日)
		sanken-s@gray.plala.or.jp		https://www.sankensetsubi.com/	
	有限会社 三工電設	下地 健一	〒901-2221	宜野湾市伊佐三丁目9番7号	
		(098)890-7150	(098)890-7151	昭和50年7月22日	
		skd@nirai.ne.jp			
	株式会社 シーイー	名城 辰巳	〒901-2225	宜野湾市大謝名3-13-11	
		(098)942-8733	(098)942-9233	平成4年12月16日	
				http://www.k-ce.co.jp	
	重信電気工事 株式会社	長嶺 禎	〒904-0012	沖縄市安慶田1-24-31	
		(098)937-2534	(098)937-7951	昭和35年6月1日	
		sdmail@shigenobu.co.jp		http://www.shigenobu.co.jp/	
	有限会社 真栄工業	真栄城 兼宜	〒904-0105	北谷町字吉原271-1	
		(098)936-1911	(098)936-2047	昭和51年6月1日	9001:2000(H15年12月18日)
		sin-ei-t@ryucom.ne.jp			
	株式会社 真和電工	池宮 拓治	〒904-2233	うるま市字豊原578-1	
		(098)974-0202	(098)974-0627	昭和56年6月1日	9001:2000(H17年11月16日)
		shinwa-d@smile.ocn.ne.jp			
	第一工業 株式会社	上里 幸春	〒904-2155	沖縄市美原三丁目18番13号	
		(098)934-9801	(098)934-9802	昭和52年9月29日	
		info@1st-ind.jp		https://1st-ind.jp/	
	中部電水工事 株式会社	仲村 千博	〒901-2201	宜野湾市新城1-4-15	
		(098)988-1291	(098)893-2527	昭和54年1月24日	
		h-chuden@mco.ne.jp			
	有限会社 津城電気工事	呉屋 賢	〒901-2413	中城村字津覇545	
		(098)895-4416	(098)895-2936	昭和54年10月20日	
	株式会社 テクノ工業	新垣 敏哉	〒904-2161	沖縄市古謝3-26-11	
		(098)938-0262	(098)938-0166	平成2年8月10日	9001:2008(H22年6月09日) 14002008(H22年6月09日)
		techno@tune.ocn.ne.jp		http://www.technokogyo-okinawa.com/	
	デルタ電気工業 株式会社	金城 保	〒901-2214	宜野湾市我如古2-36-15	
		(098)897-0513	(098)898-6561	昭和44年7月1日	9001:2000(H15年8月19日)
		info@deltaoki.net			
	東洋電気工事 株式会社	柴引 健	〒904-2165	沖縄市宮里3-8-37	
		(098)937-4445	(098)937-4777	昭和41年7月1日	9001:2000(H14年7月31日)
		toyo@tydenki.com		http://www.tydenki.net/	
	合資会社 中江電気建設	中江 園子	〒904-2221	うるま市字平良川149番地	
		(098)973-3380	(098)973-2770	昭和31年4月1日	
		info@nakae-oki.co.jp			
	株式会社 日本電設	下地 晶	〒901-2226	宜野湾市嘉数2丁目10番14号	
		(098)897-4444	(098)897-1976	昭和47年5月8日	
		nichiden@thcia.ocn.ne.jp			
	株式会社 比謝川電気	村山 博子	〒904-0203	嘉手納町字嘉手納284	
		(098)956-2253	(098)956-7904	昭和37年6月7日	
		hiden-ho@jeans.ocn.ne.jp		https://www.hijagawadenki.com/	

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	⑥電話番号	⑦FAX 番号	⑧創業年月日	⑨I S O (取得年月日)	⑩メールアドレス	⑪ホームページ
〔中部地区〕	不二宮工業 株式会社	宮 城 剛	〒 901-2203	宜野湾市野嵩 2 丁目 2 - 7	(098)893-0446	(098)935-5771	昭和 45 年 10 月 1 日		f-k@fujimiya-k.co.jp	https://fujimiya-k.jp/
		山内 美保子	〒 901-2314	北中城村字大城 4 4 0 - 1	(098)935-4768	(098)935-2334	昭和 61 年 11 月 14 日	9001:2000 (H16 年 10 月 20 日)	yama001@m1.cosmos.ne.jp	
		渡 口 彦 武	〒 904-0203	嘉手納町字嘉手納 4 7 9 - 4	(098)956-8860	(098)956-8961	昭和 50 年 2 月 21 日		office@ryuken-kogyo.co.jp	https://www.ryuken-kogyo.co.jp/
	株式会社 琉建工業	中 江 太 郎	〒 904-0203	嘉手納町字嘉手納 289 - 1 F	(098)956-0008	(098)975-6178	平成 7 年 2 月 22 日			
	ワールド電気産業 有限会社									
	有限会社 上宏工業	外 間 宏 正	〒 905-0411	今帰仁村字天底 8 6	(0980)56-2999	(0980)56-4857	昭和 63 年 10 月 11 日	9001:2000 (H16 年 11 月 7 日)	uehiro@oregano.ocn.ne.jp	
		岸 本 稲 子	〒 905-0017	名護市大中 1 - 1 8 - 2 6	(0980)52-2813	(0980)53-6994	昭和 43 年 9 月 1 日	9001:2000 (H16 年 10 月 18 日)		
〔北部地区〕	株式会社 名護電水センター	宮 里 徳 彦	〒 905-1147	名護市字田井等 3 9 1	(0980)58-1437	(0980)58-2330	昭和 47 年 4 月			
	有限会社 宮里電気									
	株式会社 朝日建設工業	狩 俣 政 吉	〒 906-0007	宮古島市平良字東仲宗根 8 2 1 - 1 0	(0980)72-7636	(0980)73-4378	昭和 49 年 5 月 31 日			
	株式会社 川田電設産業	渡 真 利 剛	〒 906-0012	宮古島市平良字西里 1 3 3 2 - 7	(0980)72-9793	(0980)72-1874	昭和 47 年 3 月 25 日	14001:1996 (H15 年 12 月 09 日)		
	有限会社 久貝電設土木	久 貝 博 義	〒 906-0506	宮古島市伊良部字長浜 190-1	(0980)78-3549	(0980)78-5436	昭和 42 年 10 月		hk-denki@miyako-ma.jp	
		狩 俣 榮 吉	〒 906-0007	宮古島市平良字東仲宗根 4 9 6 - 1 8	(0980)72-8601	(0980)72-8602	昭和 40 年 5 月 10 日			
〔宮古地区〕	株式会社 下崎工事社	洲 鎌 勝 彦	〒 906-0304	宮古島市下地字上地 361	(0980)76-6545	(0980)76-6329	平成 28 年 4 月		toko@miyako-ma.jp	
	東光電気 株式会社	高 里 礼 己	〒 906-0015	宮古島市平良字久貝 8 1 9 - 1 1	(0980)72-1526	(0980)72-8388	昭和 54 年 9 月	14001:1996 (H15 年 12 月 09 日)	m.paionia@titan.ocn.ne.jp	
	株式会社 パイオニア	根 間 松 造	〒 906-0013	宮古島市平良字下里 1 3 3 8 - 3	(0980)73-0391	(0980)73-9080	昭和 56 年 4 月 1 日		matsumiya@eagle.ocn.ne.jp	
	有限会社 松宮開発	伊 良 皆 勝 浩	〒 906-0007	宮古島市平良字東仲宗根 3 5 0	(0980)72-3396	(0980)72-9200	昭和 44 年 4 月 1 日		maruhide@mocha.ocn.ne.jp	
	株式会社 丸秀	當 山 玄 吉	〒 906-0012	宮古島市平良字西里 8 9 5 - 3	(0980)73-1995	(0980)72-6215	昭和 50 年 2 月 21 日		minase@m1.cosmos.ne.jp	
	三成技建 株式会社	砂 川 一 範	〒 906-0015	宮古島市平良字久貝 1 0 6 0 - 7	(0980)73-2651	(0980)72-1237	昭和 49 年		densui@miyako-net.ne.jp	
	有限会社 宮古電水土木	伊 良 部 幸 男	〒 906-0012	宮古島市平良字西里 1331-16	(0980)72-1661	(0980)72-4086	昭和 50 年 1 月 1 日		yosidas1@ruby.ocn.ne.jp	http://www.yoshidasangyou.com/

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX 番号	⑧創業年月日	⑨I S O (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	

〔八重山地区〕	株式会社 共和	大 底 京 子	〒 907-0002	石垣市真栄里 3 0 7 番地の 1	
		(0980)82-2283	(0980)82-4765	昭和 43 年 10 月 1 日	
		kyowa@woody.ocn.ne.jp		http://i-kyowa.com/	
	株式会社 佐久本商会	佐 久 本 達	〒 907-0014	石垣市新栄町 5 0 - 5	
		(0980)82-5859	(0980)82-6141	昭和 40 年 6 月 10 日	
	株式会社 三光電設	粟 盛 卓	〒 907-0003	石垣市字平得 2 1 2	
		(0980)82-3836	(0980)83-2047	昭和 46 年 9 月 11 日	
	株式会社 紫電舎	新 城 永 一 郎	〒 907-0002	石垣市字真栄里 3 7 5 - 8	
		(0980)82-4811	(0980)83-1409	昭和 47 年 2 月 11 日	
		siden1@ceres.ocn.ne.jp			
	有限会社 昭電工業	砂 川 一 晃	〒 907-0023	石垣市字石垣 1733-15	
		(0980)82-7697	(0980)83-8908	平成 6 年 12 月 6 日	
	株式会社 新生	生 盛 栄 治	〒 907-0003	石垣市字平得 9 0 - 7	
		(0980)82-3938	(0980)82-1852	昭和 52 年 12 月 20 日	
		sinseil1@io.ocn.ne.jp			
	株式会社 砂盛工業	砂 盛 盛 栄	〒 907-0014	石垣市新栄町 71-3	
		(0980)82-1125	(0980)82-8731	昭和 54 年 5 月	
		sunamori@lime.ocn.ne.jp			
	有限会社 東洋工業	後 上 里 洋 一	〒 907-0022	石垣市字大川 1 3 6 7 - 1	
		(0980)82-8289	(0980)82-8241	昭和 57 年 11 月 29 日	
	有限会社 仲野電設	仲 野 雅 春	〒 907-0023	石垣市字石垣 731-12	
		(0980)-83-9657	(0980)-83-9636	平成 10 年 6 月 15 日	
		inakano-d@axel.ocn.ne.jp			
	株式会社 南西工業	仲 村 公 雄	〒 907-0002	石垣市真栄里 2 4 5 - 7	
		(0980)82-2716	(0980)82-6469	昭和 47 年 5 月 15 日	
	株式会社 日建興業	後 上 里 悟	〒 907-0024	石垣市字新川 2 4 6 0 - 1 6	
		(0980)82-9562	(0980)83-2959	昭和 37 年 6 月 26 日	
	株式会社 八電工	嵩 原 督	〒 907-0004	石垣市字登野城 1 0 0 4	
		(0980)82-2825	(0980)83-0008	昭和 46 年 1 月 26 日	
		yaedenko@galaxy.ocn.ne.jp			
	有限会社 平和建設	平 田 永 和	〒 907-0002	石垣市真栄里 408-6	
		(0980)82-2877	(0980)82-2653	昭和 49 年 6 月	
		heiwa@chive.ocn.ne.jp		https://heiwa7.wixsite.com/heiwa	

会員名簿《賛助会員》

〔賛助会員〕	株式会社 アサヒ	福 重 勉	〒 900-0012	那覇市泊 2 丁目 1 番地 1 1	
		(098)862-8111	(098)863-3044	昭和 45 年 4 月 1 日	
				http://www.kkasahi.co.jp/	
	株式会社 安謝鋳物商事	仲 宗 根 重 人	〒 901-2104	浦添市当山 1 - 3 - 8	
		(098)877-7880	(098)876-4537	昭和 48 年 10 月 30 日	
	沖縄環境企画 株式会社	大 城 安 世	〒 902-0074	那覇市字仲井真 1 0 7	
		(098)831-9939	(098)947-3111	昭和 57 年 8 月 27 日	
		o_kikaku@dl.dion.ne.jp			
	沖縄ガス 株式会社	湧 川 直 明	〒 900-8605	那覇市西 3 - 1 3 - 2	
		(098)863-7730	(098)863-7748	昭和 33 年 7 月 22 日	
		honsya@okinawagas.co.jp		http://www.okinawagas.co.jp/	

①地区名	②会社名	③代表者名	④郵便番号	⑤所在地	
		⑥電話番号	⑦FAX 番号	⑧創業年月日	⑨ISO (取得年月日)
		⑩メールアドレス		⑪ホームページ	
〔賛助会員〕	株式会社 沖縄多久パイプ プレファブ加工センター	百 武 新 一	〒 904-2234	うるま市字州崎 7 番地 2 7	
		(098)921-0571	(098)921-0573	平成 20 年 11 月 6 日	
		otp@okinawa-tak.co.jp		http://www.okinawa-tak.co.jp/	
	沖縄電力 株式会社	本 永 浩 之	〒 901-2602	浦添市牧港 5 - 2 - 1	
		(098)877-2341	(098)878-3842	昭和 47 年 5 月 15 日	
	沖縄ニッタン 株式会社	山 里 秀 夫	〒 900-0001	那覇市港町 2 - 1 4 - 4	
		(098)861-1764	(098)861-1767	昭和 53 年 7 月 28 日	
		onksakai@southernx.ne.jp			
	沖縄三菱電機販売 株式会社	肥 後 通 人	〒 901-2223	宜野湾市大山 7 - 1 2 - 1	
		(098)898-1111	(098)898-0303	昭和 44 年 2 月 10 日	
		miyagi-akira@oki.mellife.co.jp		9001:2000(H16 年 1 月 27 日)	
	株式会社 共和電気	平 敷 信 行	〒 900-0012	那覇市泊 1 丁目 12 番地 12	
		(098)987-6235	(098)987-6236	昭和 41 年 8 月 2 日	
		h09@kyowa-oki.jp			
	合資会社 金城商会	金 城 憲 一 郎	〒 901-0142	那覇市字鏡水 6 8 3 - 1	
		(098)857-8800	(098)858-7078	昭和 27 年 1 月 30 日	
	株式会社 金城電気商会	金 城 寛	〒 900-0012	那覇市泊 1 - 6 - 7	
		(098)867-3166	(098)867-3928	昭和 28 年 4 月	
		nds@kinjo.co.jp		https://www.kds.okinawa/	
	新光産業 株式会社	新 里 正 志	〒 900-0036	那覇市辻 1 丁目 17-1	
		(098)863-0803	(098)-863-5992	昭和 51 年 9 月 14 日	
				http://www.shinkousangyou.jp	
	株式会社 大成	吉 田 直 樹	〒 901-1203	南城市大里字大城 538-8	
		(098)946-8383	(098)946-8385	昭和 55 年 10 月 20 日	
				http://taisei.okinawa/	
	有限会社 東洋商会	能 勢 平 一 郎	〒 900-0036	那覇市西 2 - 8 - 1	
		(098)861-1040	(098)868-9801	昭和 37 年 11 月 12 日	
	長嶺電機 株式会社	長 嶺 義 貢	〒 901-2134	浦添市字港川 5 1 2 - 2 8	
		(098)878-2121	(098)878-7222	昭和 41 年 3 月 5 日	
		ndc_ei@hotmail.com			
	光電気産業 株式会社	與 那 嶺 政 宏	〒 901-2131	浦添市牧港 5-4-10 光牧港 BLD	
		(098)877-5211	098-878-5215	昭和 45 年 10 月 1 日	
	福山建設 株式会社	湧 川 博 正	〒 901-2131	浦添市牧港四丁目 14 番 17 号 (福山商事ビル 3F)	
		(098)943-6671	(098)943-6672	令和 4 年 4 月 1 日	
		katsuo.t@fukukencorp.jp			
	マル中産業 株式会社	吉 田 勇	〒 900-0002	那覇市曙 2 - 2 5 - 2 4	
		(098)861-1661	(098)863-3514	昭和 39 年 12 月 8 日	
		marui@oki-maruisangyou.co.jp		http://www.oki-maruisangyou.co.jp/	
	株式会社 丸福	狩 俣 康 成	〒 901-2122	浦添市勢理客 3 - 3 - 1 3	
		(098)878-8412	(098)876-5776	昭和 25 年 4 月 1 日	
	株式会社 ゆにてっくす	石 原 貴 史	〒 903-0116	西原町字幸地 1 0 8 1	
		(098)944-6608	(098)944-6609	昭和 57 年 2 月 22 日	
		info@oki-unitex.jp		http://www.unitex.okinawa	

事務局日誌

(令和6年8月～令和7年1月迄)

【8月】

- 1日 (木) ・ 電気使用安全月間広報パレード
・ 地域別産学懇談会 (宮古)
- 2日 (金) ・ 地域別産学懇談会 (八重山)
- 5日 (月) ・ 定例執行部会 (11)
- 6日 (火) ・ 県選出国会議員との意見交換会 (仲田・宜保)
- 15日 (木) ・ 第668回電管グリーン
- 19日 (月) ・ 執行部会 (12)
・ 70周年記念事業第2回実行委員会
- 20日 (火) ・ 日本電気協会第1回選定委員会 (親泊)
- 21日 (水) ・ 日本赤十字社支部長感謝状伝達式 (仲田)
- 22日 (木) ・ 沖縄総合事務局との意見交換会
- 26日 (月) ・ おきなわ建設フェスタ第3回幹事会 (宜保)
- 29日 (木) ・ 第三次担い手3法説明会 (宜保)
- 29日 (木) ・ 工業高校との意見交換会
- 30日 (金) ・ 沖縄県建設業審議会事前説明 (仲田・親泊・宜保)

【9月】

- 3日 (火) ・ 第1回沖縄県建設業審議会 (宜保)
・ 電設協理事会 (親泊)
- 5日 (木) ・ 日空衛全国事務局代表者会議 東京 (宜保・知念)
- 10日 (火) ・ 定例執行部会 (13)
- 11日 (水) ・ 青年部幹事会
- 12日 (木) ・ 電設協全国大会 札幌 (親泊・金城)
・ おきなわ建設フェスタ3団体会議
- 17日 (火) ・ 執行部会 (14) 書面開催
- 18日 (水) ・ 日空衛理事会 空衛会館 (仲田)
- 19日 (木) ・ 第669回電管グリーン
・ アサヒフェア (親泊)
- 20日 (金) ・ 青年部第10回チャリティーゴルフ大会
- 26日 (木) ・ おきなわ建設フェスタ第4回幹事会 (宜保)

- 27日 (金) ・ 沖縄建設新聞取締役会 (松島)
・ 定期報告団体連絡会議 日本教育会館 (宜保・中村)

【10月】

- 1日 (火) ・ 定例執行部会 (15)
- 3日 (木) ・ 建災防災害防止大会 東京 (仲田・親泊)
- 4日 (金) ・ 平和祈念公園ボランティア清掃 (平和祈念公園)
- 7日 (月) ・ 建産連第3回役員会 (宜保)
- 8日 (火) ・ 定例執行部会
・ 第3回理事会
- 10日 (木) ・ 運営・広報委員会
- 16日 (水) ・ 雇用改善事業推進会議
- 17日 (木) ・ 日空衛全国会議 横浜 (仲田)
・ インボイス研修会 (多和田)
・ 第670回電管グリーン 琉球ゴルフ倶楽部
- 18日 (金) ・ 公共事業労務費調査に係る説明会
・ 第6回おきなわ建設フェスタ幹事会
- 21日 (月) ・ 執行部会 (17)
・ 70周年記念事業第3回実行委員会
- 22日 (火) ・ 青年部チャリティーゴルフ大会寄付金贈呈式
- 23日 (水) ・ 岸田前総理との懇談会 (仲田・宜保)
・ 年末調整研修会 (多和田)
- 24日 (木) ・ 職業講話 八重山商工高校
- 25日 (金) ・ 第6回おきなわ建設フェスタ実行委員会
- 30日 (水) ・ おきなわ建設フェスタオペレーター会議

【11月】

- 1日 (金) ・ 第4回青年部幹事会
- 5日 (火) ・ 定例執行部会 (18)
- 10日 (日) ・ 第6回おきなわ建設フェスタ
- 13日 (水) ・ 那覇市IT講習会 (中村)
・ 沖縄労働局長との懇親会 (仲田・宜保)
- 14日 (木) ・ 沖縄建設新聞取締役会
・ 沖縄県建設業審議会事前説明 (仲田・宜保)
・ 青年部県外視察研修 熊本 (知念)
- 15日 (金) ・ 沖縄防衛局入札契約制度説明会

18日（月）・執行部会（19）
 ・沖縄県との意見交換会
 ・新春会長対談（仲田）

19日（火）・首里城清掃ボランティア打ち合わせ
 （宜保・知念）

20日（水）・3D-CAD（Tfas）研修会
 ・日空衛理事会（仲田）

21日（木）・第671回電管グリーン 琉球ゴルフ
 倶楽部

23日（土）・設備士資格試験

24日（日）・設備士資格試験

26日（火）・沖縄建設新聞株主総会（仲田・松
 島）
 ・那覇市建築指導課との打ち合わせ（宜
 保・知念・中村）

27日（水）・第2回職業能力開発協会役員会（仲
 田）

29日（金）・令和6年度電気保安功労者表彰式
 （親泊）
 ・県総合運動公園清掃ボランティア
 ・叙勲・褒章・県功労者表彰合同祝賀
 会（親泊）

【12月】

2日（月）・定例執行部会（20）

3日（火）・沖縄県工業連合会忘年会（仲田）

5日（木）・担い手確保・育成委員会

6日（金）・高校生現場見学会（美里工業高校）

8日（日）・美ら島エアフェスタ2024（新垣）

10日（火）・定例執行部会
 ・第4回理事会

11日（水）・高校生現場見学会（美里工業高校）

12日（木）・沖縄県空港課説明会

16日（月）・定例執行部会（22）

18日（水）・安全衛生大会
 ・青年部忘年会

19日（木）・第672回電管グリーン 琉球ゴルフ
 倶楽部

20日（金）・安全パトロール 開邦高校
 ・人事給与事務研修 東京（多和田）

24日（火）・建設産業ビジョン会議（宜保）

27日（金）・仕事納め

【1月】

6日（月）・仕事始め
 ・那覇市新年祝賀名刺交換会（宜保・
 知念）
 ・令和7年 経済団体合同新年会（仲
 田・宜保）

7日（火）・沖建協新春の集い（仲田・宜保）

9日（木）・執行部新年挨拶回り
 ・建築関係団体新年会（仲田・宜保）

10日（金）・定例執行部会

15日（水）・日空衛理事会
 ・青年部幹事会

16日（木）・第673回電管グリーン 琉球ゴルフ
 倶楽部

20日（月）・定例執行部会
 ・70周年記念事業第4回実行委員会

23日（木）・新年賀詞交歓会

電管協会報

令和7年（2025）1月31日発行 第84号

運営・広報委員会

委員長 金城正司

発行所／（一社）沖縄県電気管工事業協会
 発行人／仲田 一郎

副委員長 福田 郁絵 委 員 島袋 清人
 委 員 玉城 信六 専務理事 宜保 勝
 事務局 知念 徹

〒900-0036 沖縄県那覇市西3-4-5
 電話 098-868-8400 FAX 098-868-8224

嘱 託 (株)沖縄建設新聞編集部

編集協力／(株)沖縄建設新聞 〒900-0012 那覇市泊3-5-6

印刷／(株)メディアプレス

電話 (098) 867-1290 / FAX (098) 868-1275

電話 (098) 996-3610

電気の子メーターをご使用の皆様へ



電気の子メーターは

有効期限があります。**検定ラベル・検定票**を確認してください。

検定※¹に合格したもの

検定証

旧(平成28年3月まで)

現行(平成28年4月以降)



有効期限
平成33年3月末です。

有効期限
表示はありません。

検定ラベル(有効期限は、和暦又は西暦で表示されています。)

旧

現行



有効期限
平成33年3月末

有効期限
平成40年12月末
(2028年12月末)

有効期限
2034年7月末

※¹ 日本電気計器検定所が行います。

変成器付計器の有効期限は 検定票で表示しています。

旧

検定証印

現行



検定票(有効期限は、和暦又は西暦で表示されています。)

○ 沖 37 7

○ 2031 7

有効期限

左側「平成37年7月末」、右側「2031年7月末」の表示

単独計器

ブレーカー型計器

変成器付計器

自主検査※²に合格したもの

基準適合ラベル

封印キャップ

旧

現行



※² 指定製造事業者が行います。



子メーター
管理人側が
検定又は自主検査を
受けて取り付けます。

電力メーター
電力会社が
検定又は自主検査を
受けて取り付けます。



検定票

ファイバー製
(検定番号)

黄銅製
(合番号)

変成器付計器の場合、小判形のファイバー製(検定番号の刻印)と黄銅製(合番号の刻印)の2種類の検定票が付けられています。

・ファイバー製 有効期限は、和暦(2桁)又は西暦(4桁)表示で 茶色:7年 灰色:5年 ・黄銅製

表面 ○ 沖 37 7

有効期限

表面 ○ 沖 01234

計器と変成器の組み合わせ番号

○ 2031 7

上側「平成37年7月末」の表示

○ 沖 30 7

検査合格年月

裏面 ○ 沖 01234

下側「2031年7月末」の表示

○ 2024 7

上側「平成30年7月」の表示

検定番号が刻印されています。

初回検定時は、検定番号と合番号は同じです。

※有効期限ではありません。

※平成31年以降の和暦の有効期限表示は、改元前の和暦に対応する西暦に読み替えてください。

証明用電気計器(子メーター)は、公的機関を含むビル内のテナント、アパート、貸ビル、寮、社宅等で、電気料金の配分証明に用いられるものの他、太陽光発電・風力発電等に使用されている売電用のメーターも対象です。

☆検定又は自主検査に合格し、有効期限内のメーターでないと使用できません。(計量法第16条)

☆国、都道府県知事又は特定市町村の長の立入検査等があります。(計量法第148条)

※子メーターの検定有効期限確認のための立入検査は行政機関(沖縄県計量検定所、那覇市市民文化都市民生活安全課)自身によって行われます。

※民間その他の機関が経済産業省や日本電気計器検定所の指導や委託等を受けて調査や立入検査を行うことはありません。

有効期限が近づいた又は期限切れとなった子メーターは、検定又は自主検査に合格した子メーターに取り替える必要があります。ご質問等がございましたら、内容ごとに裏面の「お問い合わせ先一覧」をご参照の上、ご相談ください。

《お問い合わせ先一覧》

- 子メーターに関する計量法については…………… 内閣府 沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー・燃料課 ☎098(866)1759
- 検定については…………… 日本電気計器検定所 沖縄支社 ☎098(934)1491
- 検定申請等のご相談については…………… 沖縄電機工業株式会社 ☎098(929)1255
- 子メーターの取替等工事については…………… 沖縄県電気工事業工業組合 ☎098(943)0452
- 子メーターの取扱いメーカーは…………… 大崎電気工業株式会社 営業本部 沖縄営業所 ☎098(832)7406
- …………… 東光東芝メーターシステムズ株式会社 九州・沖縄エリア ☎092(735)3040
- …………… 富士電機株式会社 沖縄支社 ☎098(862)8625
- …………… 三菱電機株式会社 九州支社 ☎092(721)2243

[無断転載禁止]

技術を通して叶えたい
より豊かな地域社会を創造。



株式会社 **たいき** **大輝**

電気設備 電気通信設備 土木工事

〒901-0231

沖縄県豊見城市字我那覇 445 番地 12

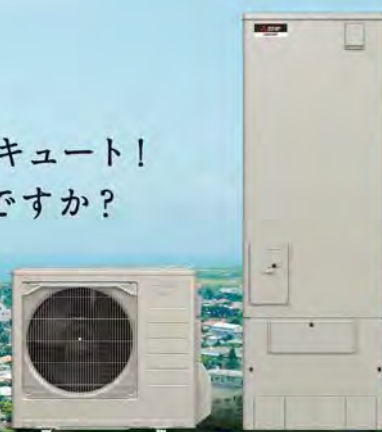
TEL **098-856-6482**

受付 8:00~17:00 定休日 土日祝

代表取締役社長 平良 正



塩害・ヤモリ・スケールにも強いエコキュート！
沖縄にピッタリの給湯機はいかがですか？



本体写真は脚部カバー（別売部品）付きです。「エコキュート」は関西電力の登録商標です。*「エコキュート」の名称は、電力会社・給湯機メーカーが推奨する自然冷媒CO₂ヒートポンプ給湯機の愛称です。

非常時にも使いやすい設計



※脚部カバーは別売、ハンドル部分は本体備え付けです。

2025年度省エネ基準達成！

*SRT-N466-OK2, SRT-N376-OK2

日本を沸かせるスマート給湯

三菱 エコキュート

しあわせをシェアしよう。



明日へエネルギーマネジメント

【お問い合わせ先】 沖縄三菱電機販売株式会社
〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山7-12-1
TEL.098-898-1111 FAX.098-898-0303

www.MitsubishiElectric.co.jp/ecocute



三菱電機株式会社

人に、社会に、地球に貢献



 ヤシマ工業株式会社

<https://www.yashima-kogyo.com/>

電管協会報

第八四号

令和七年一月三十一日発行

発行所（一社）沖縄県電気管工事業協会

発行人 仲田 一郎



OKIDENKO

信頼と技術で
快適な社会づくりに貢献する

私たちの培ってきた信頼と技術で、
このふるさとを豊かにしたい。
暮らしの礎となる様々な工事を通じ、社会を支える。
これからも沖縄の未来のために貢献できる
企業を目指します。



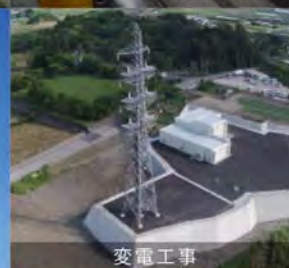
建築工事



モノレール保守点検



通信基地局建設工事



変電工事



配電工事



photo:FOTOTECA

建築・電気・機械設備工事

総合建設業
株式会社 沖電工

〒900-0025 沖縄県那覇市壺川 2-11-11
TEL : 098-835-9888 FAX : 098-835-3627

